BAMBOO™



ユーザーズガイド
for Windows® / Macintosh®

ペンを使う
ペンのカスタマイズ
トラブルシューティング
タブレットを使う
タブレットのカスタマイズ
デジタルインク

製品の保証についてのお願い

保証規定をよくお読みになり、お買い上げから 1 年間は保証書を保管してください。保証書に販売店による記入がない場合は、直ちに販売店にお申し出になるか、ご購入時の領収書（またはその写し）を保証書に添付して保管してください。保証書に、販売店による記入も領収書の添付もない場合は、保証書が無効になります。

電波障害自主規制等について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受像器に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取り扱い説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

商標について

Bamboo は、株式会社ワコムの商標です。Wacom は、株式会社ワコムの登録商標です。

Adobe、Acrobat、Adobe Reader、Photoshop は、アドビシステムズ社の米国およびその他の国のおける登録商標あるいは商標です。

Apple、Apple ロゴ、Macintosh は、米国およびその他の国で登録されたアップルコンピュータ社の登録商標です。

その他の会社名、および製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。

著作権について

付属のタブレットドライバの著作権は、株式会社ワコムにあります。

タブレットドライバ、および本書の内容の一部または全部を、無断で複製、転載することは禁止されています。

タブレットドライバを含む本製品の仕様、及び本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。

Bamboo™
ユーザーズガイド for Windows®/Macintosh®
2008 年 3 月 3 日　第 2 版発行

目次

本書について

本書は、Bamboo に関する情報を即座に入手することができます。ナビゲーションボタンまたはハイライトされたテキストをクリックして、ページを移動します。本書に記載される情報は、Windows と Macintosh コンピュータに共通するもので、特に指定のない限り、Windows の画面を使用しています。

- 目次では、目次の項目をクリックすると、目的の章や項目へ移動することができます。
- Bamboo を使うは、学習の章です。この章では、Bamboo ペンタブレットの機能を説明します。ここでは、ペンタブレットや、ペンの機能と特徴について説明します。また、初めて利用する方への練習があります。ペンタブレットを初めてお使いになる方は、この章を初めにお読みください。
- コントロールパネルの使い方では、コントロールパネルの変更方法を説明しています。Bamboo ペン、タブレットを作業しやすいようにカスタマイズします。
- トラブルシューティングでは、タブレットと入力デバイスのテストおよびトラブルシューティングの情報が記載されています。トラブルシューティング情報で、多くの共通した質問に対する答えが見つけられます。
- 付録では、Microsoft Windows Vista での新しいペン機能やデジタルインク機能に加えて、タブレットやペンのお手入れ、ソフトウェアのアンインストール方法、使用許諾、保証など、様々な情報を記載しています。

補足：本書では、タブレットのインストールに関する情報は、記載しておりません。ペンタブレットのインストールに関する詳細については、製品に付属する「ユーザーズガイド」および自動ソフトウェアインストーラ (Bamboo ペンタブレットドライバ CD) を参照ください。

オンラインマニュアルを初めて利用する場合、本書の使い方を読んで確認してください。

- 「」で囲まれた文字は、ダイアログボックス、コントロールパネル等のオプションの名前を特定するのに使用しています。
- 表示画面のマニュアルのサイズを大きくするには、Adobe Reader のズームインツールを使用してください。
- お客様のコンピュータのハードウェアないしオペレーティングシステムに関する情報、またはアプリケーションソフトに関する情報は、本製品には含まれておりません。これらの情報については、ハードウェア、オペレーティングシステム、アプリケーションに付属するマニュアルをお読みください。
- Microsoft Windows Vista に内蔵のインク機能サポートに加えて、多くのグラフィックスアプリケーションで、筆圧および消しゴム機能がサポートされています。これらの機能をサポートするアプリケーションについては、ワコムホームページ記載されております。（製品情報をご覧ください）アプリケーションで、Bamboo の機能を最大限に活用する方法については、アプリケーションについてのマニュアルの説明をご覧ください。

本書の使い方

次のボタンやテキストをクリックして、ページを移動させます。

	表紙へ移動します。
目次	目次のはじめへ移動します。
索引	索引のはじめへ移動します。
	見た順に表示を戻ります。
	ページ番号順に戻ったり、進んだりします。
セクションの開始	セクションの初めに戻ります。
トピック	トピックへ移動します。
	次のトピックへ進みます。

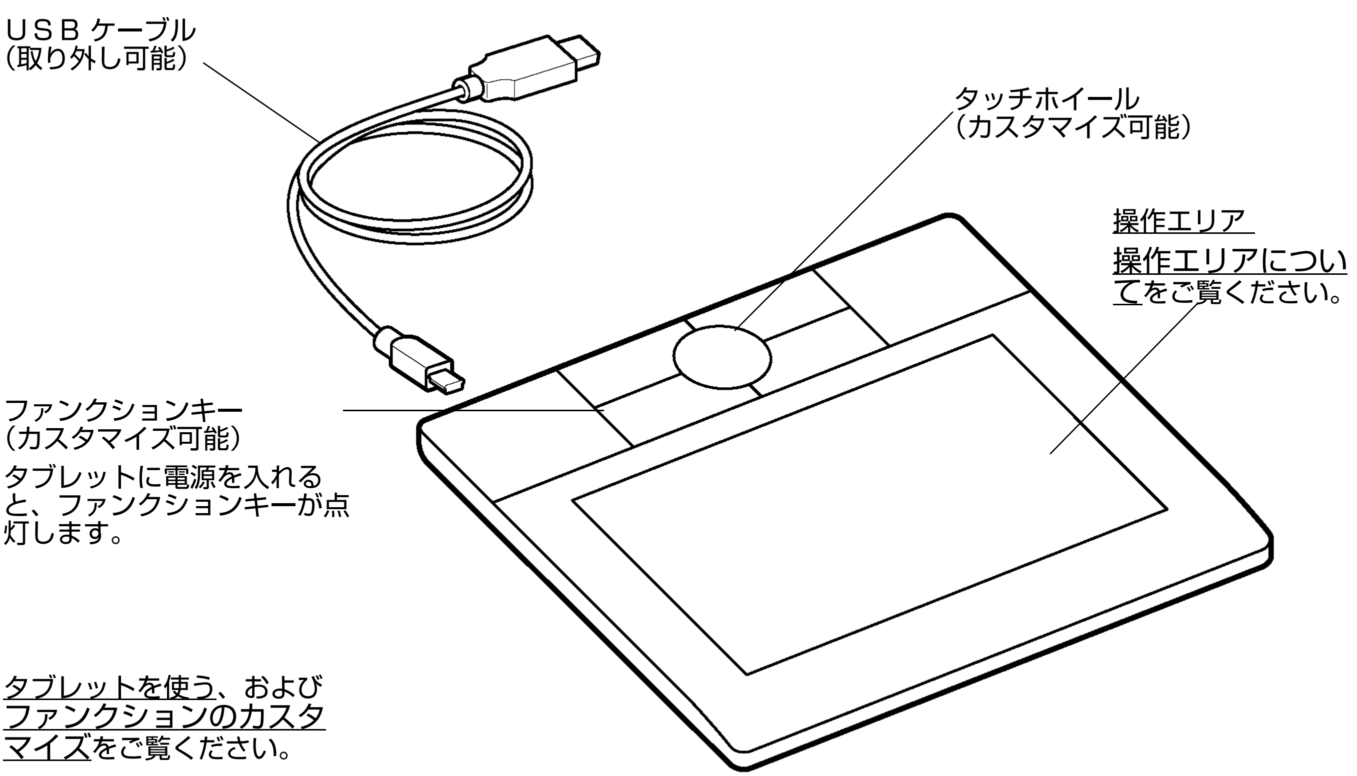
Adobe Reader により、マニュアルの使用および印刷のためのツールが提供されます。使い方については、Adobe Reader のヘルプをご覧ください。

BAMBOO を使う

このセクションでは、Bamboo ペンタブレットを紹介します。Bamboo は、作業エリアとして使用するタブレットとタブレット上で使用する Bamboo ペンで構成されています。

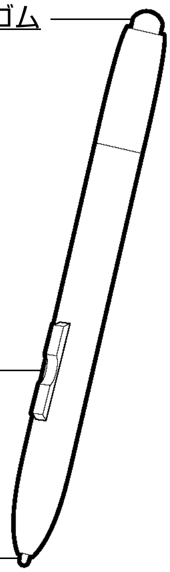
ペンタブレットの使用法を早く理解するには、その形状と特徴になれることです。
ペンとペンタブレットを初めてお使いになる方は、以下のセクションを読んで、ペンとペンタブレットについて学習してください。

各部の名称



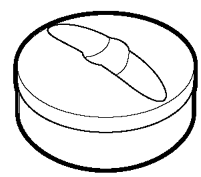
BAMBOO ペン

Bamboo ペンはコードレスで、電池は不要です。



Bamboo ペン

Windows Vista および Office 2007 のペンおよびデジタルインク機能を活用することで、ペンは、ワークフローの向上に役立ちます。デジタルマークアップを利用して共同編集作業を行なったり、手書き認識機能をサポートしたアプリケーションで、デジタルインクを使ってメモを書き込むことができます。筆圧を使った描画にも役立ちます。消しゴム機能は、筆圧に対応していません。



ペンスタンド

姿勢と作業環境を整える

疲労が軽減するように、作業環境を整えて楽に作業できるようにしてください。タブレット、ペン、キーボードを手の届きやすい場所に配置してください。目を疲れさせずに、楽に見ることができるような場所へモニタを置いてください。画面のポインタがタブレット上の手の動きと同じ方向へ移動するようにタブレットを置いてください。



以下の項目にご注意ください。

- 作業の合間に休憩をとり、筋肉を伸ばしたり、リラックスさせてください。
- ペンを持つときはなるべく力を抜いてください。
- １日のうちで性質の異なる作業を入れ替えて行ってください。
- 不快感を伴う不自然な姿勢や、反復動作を控えてください。
- 作業姿勢に不快感を感じたら、姿勢を変えてください。

補足：Bamboo が原因と思われる反復性ストレスの徴候、障害、あるいは症状についての治療や予防の説明、約束、保証はいたしかねます。必ず医師の診断を受け、適切な処置をとるようにしてください。

詳細については、タブレットを使うをご覧ください。

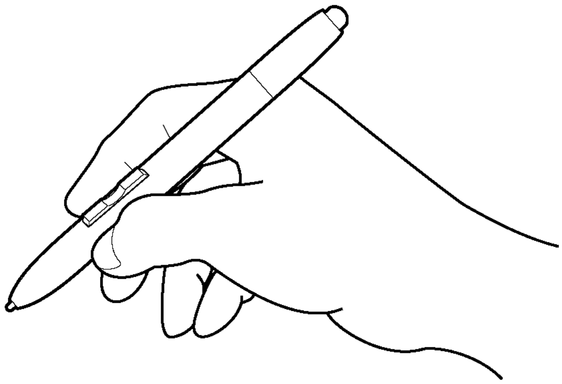
ペンを使う

Bamboo ペンはコードレスで、電池不要、筆圧対応です。ペンを使う基本技術は、ポインタの移動、クリック、ダブルクリック、ドラッグの 4 種類です。少し練習すれば、自由にペンが使えるようになります。ペンを使うことに慣れない場合は、次のページからの練習を行ってください。

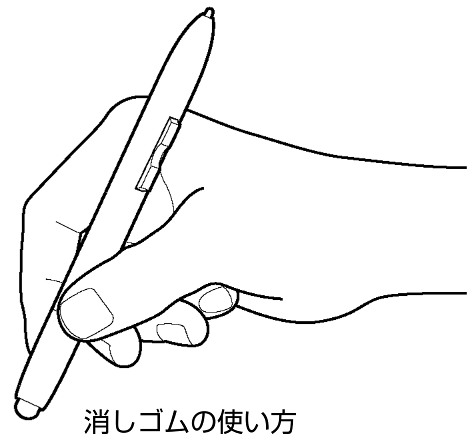
Windows Vista をお使いの方に：Windows Vista のペン機能を最大限に利用するために、Windows Vista トレーニングツールや Tablet PC チュートリアルなど、システムに付属する資料をお読みください。Windows Vista の「スタート」メニューから、「すべてのプログラム」→「TABLET PC」→「TABLET PC ペントレーニング」と選択すると、Tablet PC ペントレーニングが開きます。

ペンの持ち方

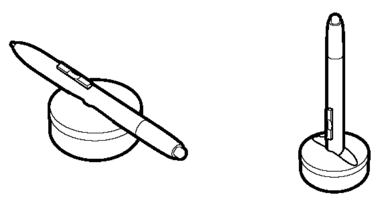
鉛筆やボールペンと同じようにお持ちください。サイドスイッチが、親指でスイッチを押せるような位置にあることを確認してください。誤ってサイドスイッチを押さないようにしてください。描きやすさを感じる方向にペンを傾けて使用できます。



ペンの持ち方



消しゴムの使い方

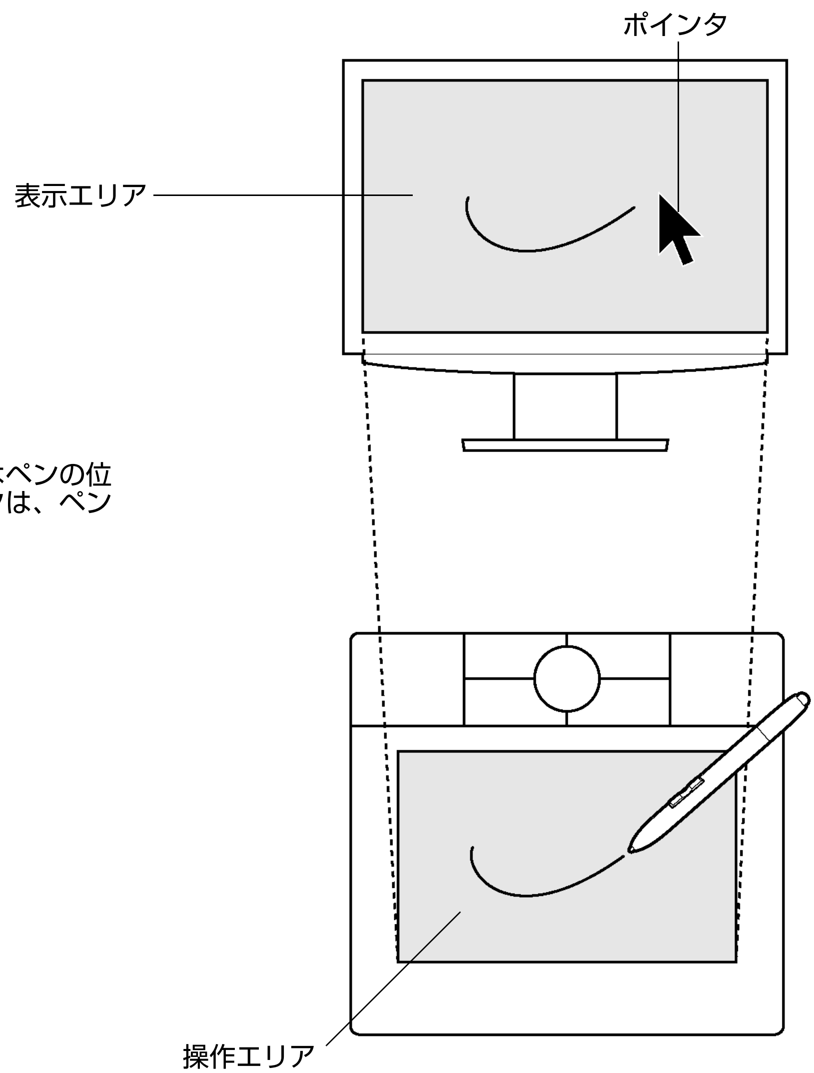


ペンスタンドは、ペンを使用しない場合に置きます。作業中に、ペンを縦か横にして置いておくことができます。

重要 : ペンを使用しない場合、ペンスタンドに置くか、または机の上に横にして置いてください。ペン先が押されてしまうような入れ物には、ペンを収納しないでください。Bamboo ペンをタブレット上に置いたままにすると、マウスなど他のデバイスを使用する際、画面のポインタの位置決めができなくなる場合があります。使用しないときに Bamboo ペンをタブレットの上に置いたままにすると、コンピュータの節電モードの妨げにもなります。

操作エリアについて

ペンの動きを検知する操作面上の領域を「操作エリア」、それに対応する画面上の領域を「表示エリア」と呼びます。表示エリア上のポインタがペン先の位置を表示し、ペンの移動に合わせてポインタも移動します。

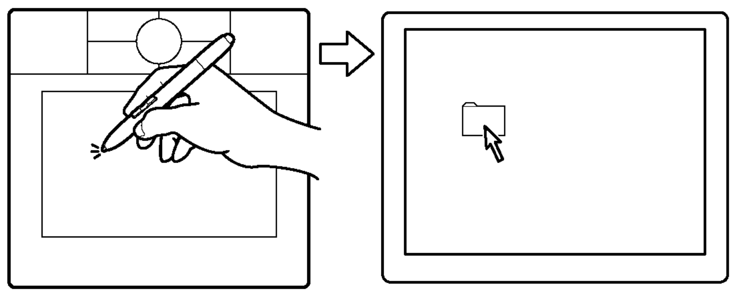


表示エリアのポインタはペンの位置を示します。ポインタは、ペンの動きに従います。

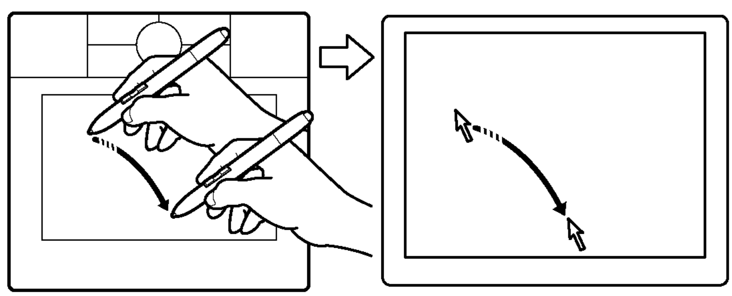
ポインタの移動

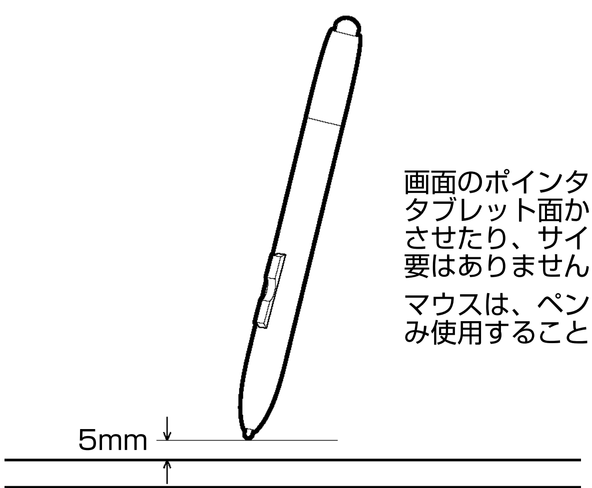
画面のポインタは、絶対位置 (ペンモード) または相対位置 (マウスモード) のどちらかで配置できます。

- ペンモードでは、タブレットの操作エリアは、コンピュータ画面に割り当てた表示部と一致します。タブレットの操作エリアで指定する点は、ディスプレイ画面上の 1 点に正確に対応します。タブレットにペンを置くと、画面のポインタは画面上の対応する点にジャンプします。これはペンの標準設定です。
- マウスモードでは、通常のマウスのように、動いた方向と距離に応じてポインタが移動します。



ペンを少し持ち上げてポインタを移動させ、新しい場所へペン先を置きます。ポインタが新しい場所へジャンプします。





画面のポインタを移動したり、サイドスイッチを操作するには、ペン先をタブレット面から 5mm 以内の場所に近づけます。画面のポインタを移動させたり、サイドスイッチを使用するのにペン先でタブレットに触れる必要はありません。

マウスは、ペンと同じ様に機能しますが、タブレットの操作エリア上でのみ使用することができます。

ヒント：

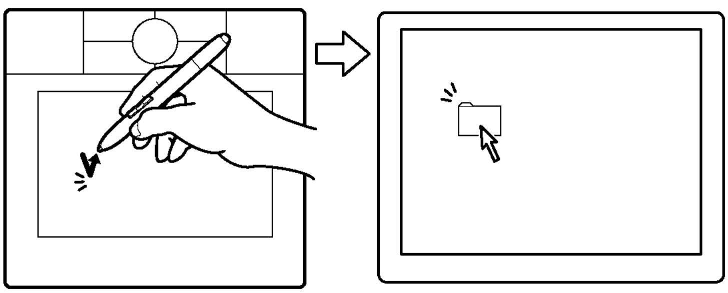
- マウスの使用に慣れていて、ペンの操作に少し違和感がある場合は、画面を見ながらペンを使うを参照ください。
- 画面のポインタが、タブレット上の手の動きと同じ方向へ移動するようにタブレットを置くと、ポインタを簡単に操作できるようになります。

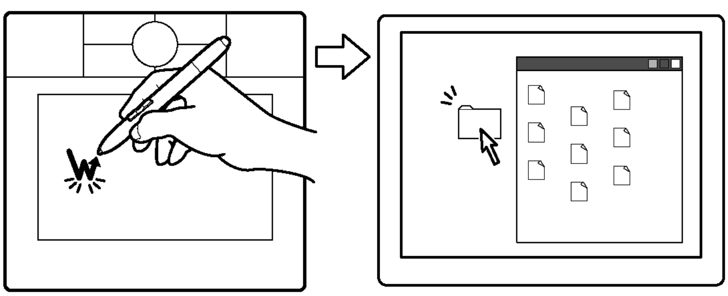
クリック

画面上のアイコンを選択する場合、クリックします。開くにはダブルクリックします。

クリック　クリックするには、タブレットをペン先で一度軽くたたくか、タブレットにペン先を強めに押しつけます。(コントロールパネルで「クリック音」が選択され、コンピュータのスピーカがオンの場合、ペン先を強く押してクリックすると、「カチッ」と音がします。必要に応じてスピーカのボリュームを調節してください。) フォルダアイコン上に画面のポインタを移動させ、ペン先を押してアイコンをクリックしてみてください。フォルダアイコンを押すと、ハイライトされます。

ダブルクリック　ペン先で同じ場所を短く２回たたきます。マウスボタンで 2 回クリックするのと同じです。フォルダアイコンを開くには、ダブルクリックしてみてください。





ヒント：

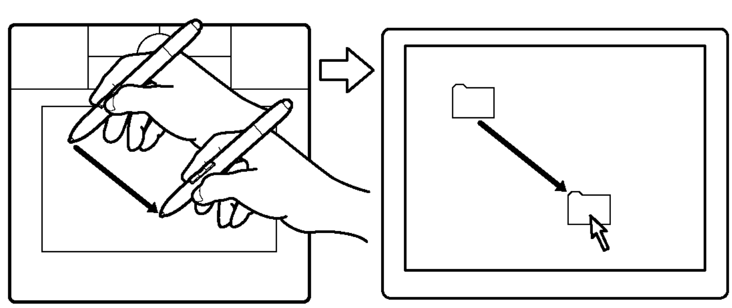
- **Windows:** ペンをアイコン上に移動するだけで選択でき、シングルクリックで起動するように Windows を設定すると、ペンの操作が簡単になります。この機能を有効にするには、フォルダを開いて、以下の設定を行なってください。

  Windows Vista の場合：「整理」プルダウンメニューから、「フォルダオプション」を選択します。「全般」タブで、「シングルクリックで開く」を選択します。

  それ以外の Windows の場合：任意のフォルダを開いて「ツール」メニューを選択し、プルダウンメニューから「フォルダオプション」を選択します。「全般」タブの「クリック方法」をポイントして選択し、「シングルクリックで開く」を選択します。
- サイドスイッチを「ダブルクリック」に設定しておくと、ペン先で 2 回タブレットをたたくよりも簡単にダブルクリックすることができます。

ドラッグ

ドラッグすることで、画面上のオブジェクトを選択したり、移動したりできます。ペンで画面上のオブジェクトをドラッグするには、オブジェクトを選択してからペン先をタブレットに押し当てたまま、タブレット面の上を滑るように移動させます。選択したオブジェクトは、画面上を移動します。テキストを選択するには、画面のポインタを行の開始位置に移動させます。次にタブレット上でペンをドラッグさせ、テキストをハイライトの状態にします。



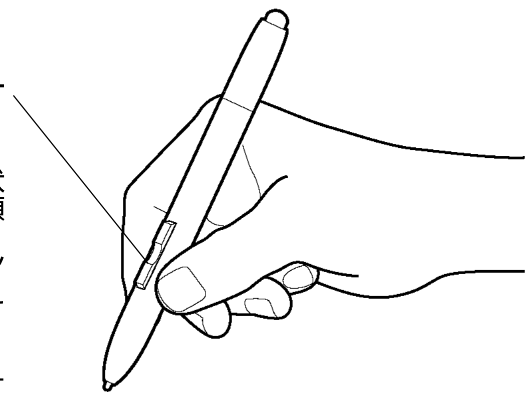
サイドスイッチを使う

Bamboo ペンには、サイドスイッチが 2 つ装備されています。このスイッチは、お好みの設定（機能）にカスタマイズ可能です。ペン先がタブレットの操作面から高さ 5mm 以内にある場合に、サイドスイッチを使用することができます。ペン先がタブレットに触れていなくても、サイドスイッチは使用できます。

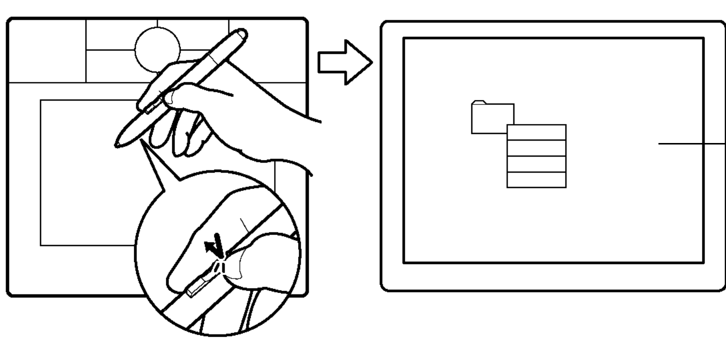
標準設定では、上のスイッチは「右クリック」に、下のスイッチは「スクロール / 移動」に設定されています。

- アプリケーションやアイコンのポップアップメニューを表示させるには、「右クリック」を使います。
- 「スクロール / 移動」は、ペンのサイドスイッチを押し、ペン先をタブレットの操作エリアに押し当てた状態のまま移動することによって、ウィンドウ内で書類または画像を任意の方向に移動することができます。タブレット上でのペン先の移動にしたがって、ウィンドウ内の書類あるいは画像が移動します。移動を終える場合には、ペンのサイドスイッチを放すか、タブレットからペン先を離してください。

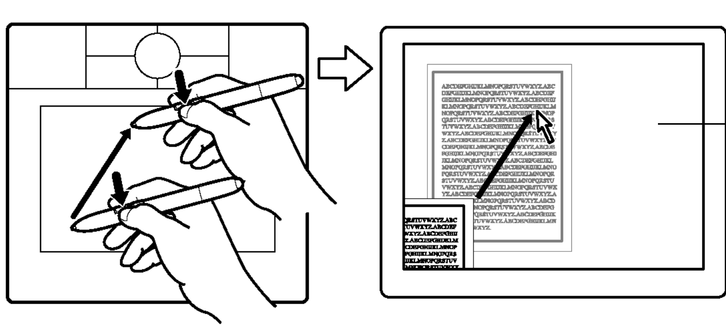
  アプリケーションによっては、ペン先の動きに対応する画面上のポインタと同じ方向に書類や画像がスクロールするだけの場合もあります。



ヒント：サイドスイッチを「ダブルクリック」に設定しておくと、ペン先で 2 回タブレットをたたくよりも簡単にダブルクリックすることができます。



画面上の右クリックの例

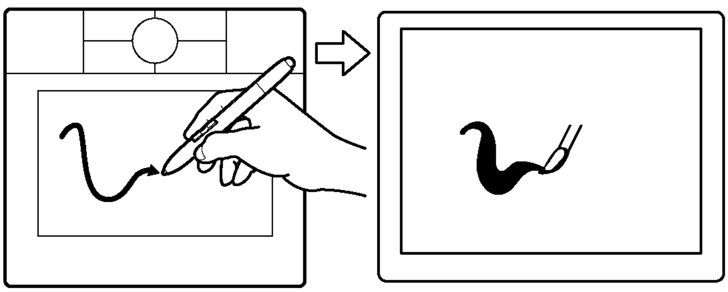


画面上のスクロール / 移動の動作の例

新しいスイッチ機能を割り当てるには、 サイドスイッチのカスタマイズをご覧ください。

筆圧を使って書く / 塗る

ペンは、微妙な手の動きや変化を感知するので、自然な感じの手書き文字やインクのラインを作成できます。多くのグラフィックアプリケーションの描画機能と同様に、Windows Vista と Office2007 のデジタルインク機能もまた筆圧に対応します。例えば、アプリケーションによりますが、スライダは線の特徴（太さ、色、透明度）を変えるのに使用します。このような特徴はペンの筆圧機能でさらに調整できます。ペンに加える力で、線の太さ、色の混ぜ合わせ、透明度を変えられます。



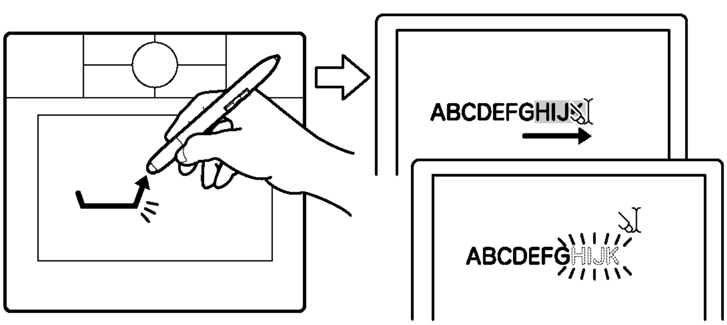
筆圧を使用して、文字を書いたり、塗ったり、スケッチするには、ペン先に加える力を変えながら、ペン先でタブレット面をなぞるようにしてペンを移動させます。

ペン先の感触を調整するには、ペン先の感触、ダブルクリックを調整するをご覧ください。

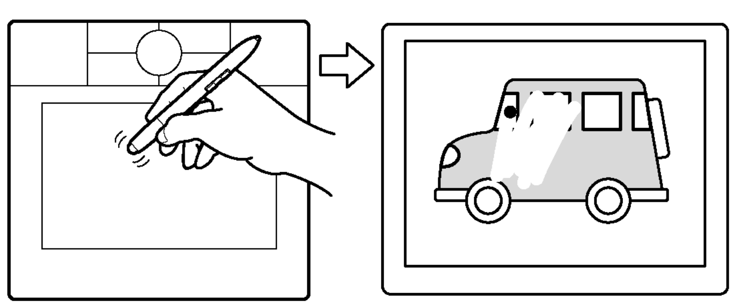
筆圧をサポートするグラフィックアプリケーションについては、ワコムのホームページをご覧ください。本書の製品情報もご覧ください。

消しゴム

Bamboo ペンの消しゴムは、鉛筆の消しゴムのように働きます。Windows Vista と Office 2007 の消しゴム機能では、デジタルインクで書かれたメモやスケッチを消します。また、アプリケーション内のテキストや表計算のセルの中のテキストを選択して消去することができます。消しゴムをサポートするグラフィックアプリケーションで、ペンの消しゴムをタブレットの操作エリアに近づけると自動的に消しゴムツールに切り替わり、タブレット面に押し当てることにより消すことができます。消しゴム機能は筆圧に対応していません。



消しゴムをサポートするグラフィックアプリケーションについては、ワコムのホームページをご覧ください。本書の製品情報もご覧ください。アプリケーションで消しゴムがサポートされていない場合でも、ナビゲーションや、インク、注釈やスケッチには、消しゴムを使うことができます。

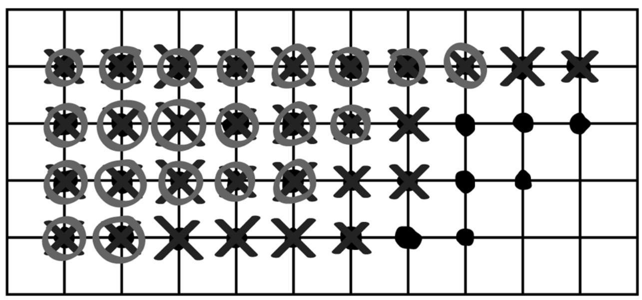


画面を見ながらペンを使う

マウスをお使いであれば、画面のカーソルの移動に慣れるのにどれくらいの時間がかかったか、思い出してください。
同じ様に、Bamboo ペンについても、「ペンモード」での画面のカーソルの移動を習得するには少し練習が必要です。最初は難しく思われますが、「マウスモード」より自然で、すぐに習得できます。

この練習は、ペンを使用するために、目と手の連動に慣れるために作られています。

1. グラフィックアプリケーションを開きます。線ツールを使って 2 ～ 2.5cm の間隔で格子を描きます。マウスを使ってもよいでしょう。
2. フリーハンドツールを選択して、格子の交点にペンで点を打ちます。
3. 格子の交点にペンで X 印をつけます。
4. 最後に、格子の交点を○で囲んでください。下の図のようになります。

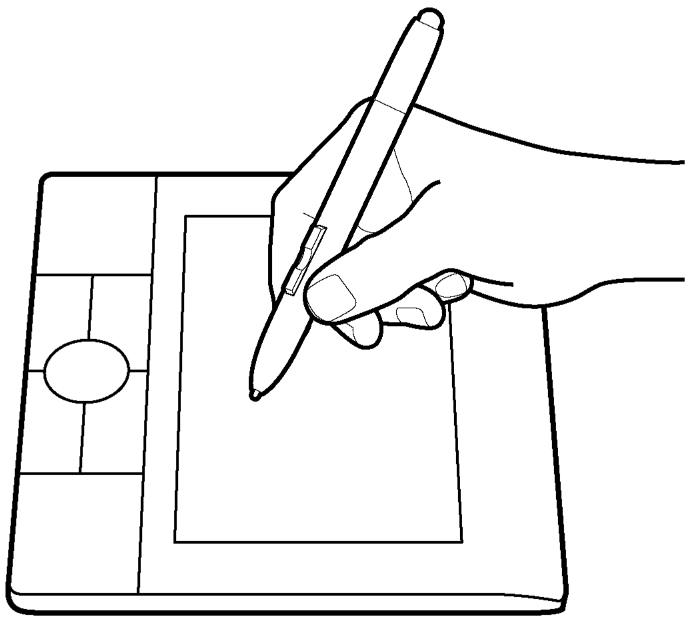


5. 今度は、画面をクリアして好きな絵を描いてみてください。ペンを使うほど、絵をかいたり、インクを入れたり、ポインタを操作することが楽になっていきます。

タブレットを使う

Bamboo ペンタブレットは効率的な作業ができるように設計されています。タブレットの中央部分が、ペンおよびマウスの操作エリアです。紙の上でボールペンを使うように、タブレットに手を置き、タブレットの操作エリアでペンを使います。タブレットの操作エリアにペンを置くと、ポインタは、画面上の対応点にジャンプします。タブレットの上でのペンやマウスの使い方については、ペンを使うを参照してください。

タブレットの操作エリアの上にカスタマイズが可能なタッチホイールとファンクションキーが設けられています。このキーによく使う機能を割り当てることができます。例えば、タブレットから手を離すことなく、編集している文書を拡大または縮小することができます。



タッチホイール　タッチホイールの上で指を滑らせるように動かすことによって、ズームまたはスクロール機能を実行します。標準設定では、タッチホイールがズーム機能に設定されています。

- 指を右回りに動かすと、文書または画像が拡大されます。
- 指を左回りに動かすと、縮小されます。

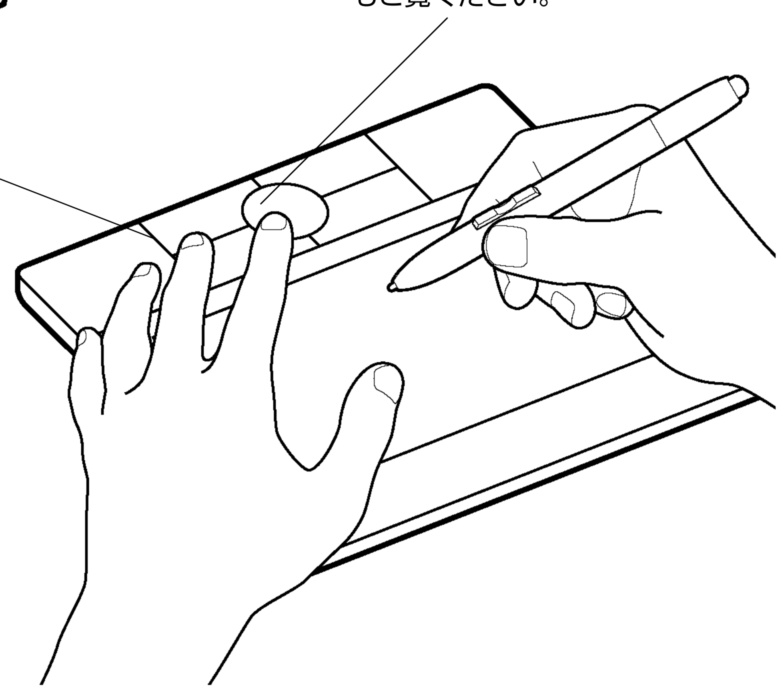
ファンクションのカスタマイズもご覧ください。

ファンクションキー　ファンクションキーを押すことによって、よく使われる機能やキーストロークを実行できます。

標準設定では、上のキーは、インターネットのブラウザーの「進む」（右のキー）と「戻る」（左のキー）に設定されています。

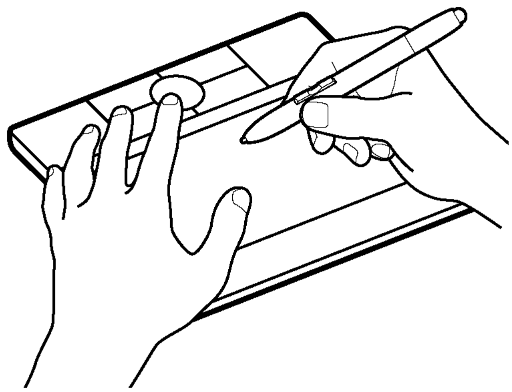
Windows Vista システムで、Windows Journal アプリケーションが利用できる場合、左下のボタンは「Windows Journal」に設定されています。それ以外の場合、このボタンは、「デスクトップを表示」に設定されています。

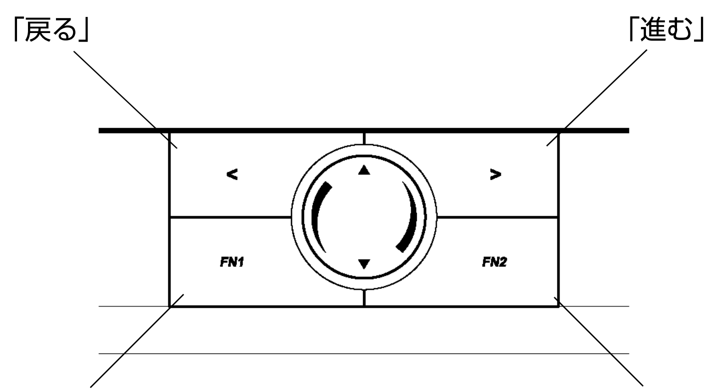
右下のボタンは、Windows システムでは「タスク切り替え」、Macintosh システムでは「Exposé」に設定されています。



ファンクションキーを使う

ファンクションキーを押して、よく使う機能を実行します。片方の手でタブレットの上で Bamboo ペンを使いながら、もう片方の手でファンクションキーを押すことができます。ファンクションキーの標準設定は、使用している OS によって異なります。





- Windows Journal がインストールされている OS をお使いの場合：「Windows Journal」（Windows Journal が起動する）
- 上記以外の OS をお使いの場合：「デスクトップを表示」（開いているウィンドウがすべて最小化される）

- Windows Vista (Aero)：「タスク切り替え」(「3D フリップ」)
- Windows Vista、XP、2000：「タスク切り替え」
- Macintosh：Exposé 機能（画面に開いている全ウィンドウを並べて表示させる）が働く

ファンクションキーは最大限活用できるようにカスタマイズが可能です。ファンクションキーの別の使い方が考えられるかもしれません。

- よく使うキーボードのショートカットをキーに設定します。
- 電子メールプログラムなど、よく使うファイルあるいはアプリケーションを起動するようにキーを設定します。
- その他の利用できる機能から選択し、設定ます。

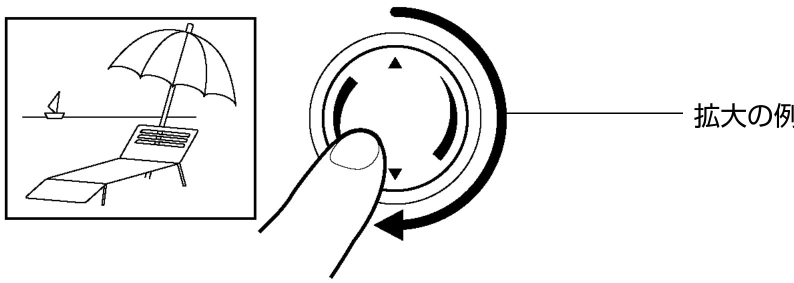
タブレットのファンクションキーは、複数ボタンの同時押しが可能です。例えば、1 つのボタンに「Ctrl」キーを、別のボタンに「Alt」キーストロークを割り当てた場合、両方のボタンを押すと、「Ctrl」+「Alt」が実行されます。

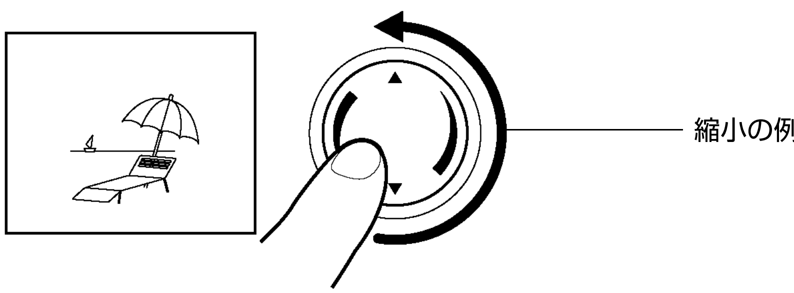
利用できる設定に関する詳細については、ファンクションのカスタマイズをご覧ください。

タッチホイールを使う

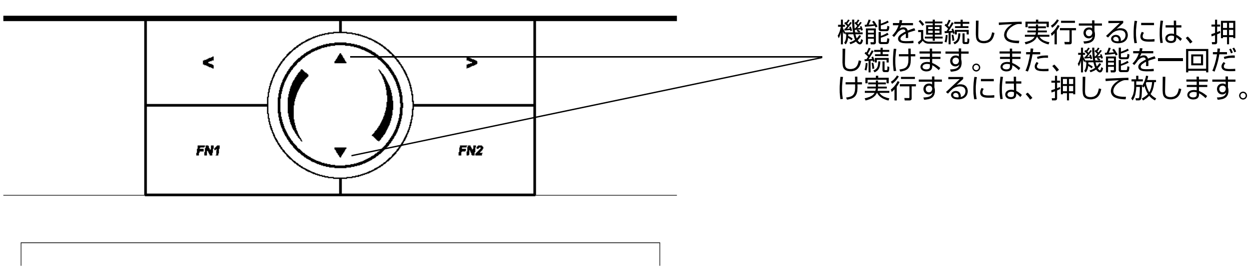
タッチホイールを使って、表示中の文書や画像をスクロールしたり、拡大することができます。

- **ズーム**：指を右回りに動かすと拡大、左回りで縮小します。ズーム機能が働かないアプリケーションでは、スクロール機能が働きます。





- **連続的なスクロール**：タッチホイールの上側を押し続けると、上方向に連続的にスクロールします。タッチホイールの下側を押し続けると、下方向に連続的にスクロールします。
- **シングルステップ・スクロール**：タッチホイールの上側を軽くたたくと、少し上方向へスクロールしますスクロールします。タッチホイールの下側をたたくと、少し下方向へスクロールします。



ホイール上を円を描くように指でなぞるとスクロール操作がおこなわれるように、タッチホイールを設定することもできます。ファンクションのカスタマイズをご覧ください。

コントロールパネルの使い方

Bamboo ペンタブレットの基本的な使い方がマスターできたら、ペンや、タブレットをカスタマイズできます。本章では、この章では、ペンタブレットコントロールパネルを使って、タブレットとペンの設定を調整する方法について説明します。

コントロールパネルを開く

タブレット上で Bamboo ペンを使って、コントロールパネルを開きます。

- **Windows**　Windows の「スタート」ボタンをクリックして、「すべてのプログラム」を選択します。（Windows 2000 では、「プログラム」を選択します。）次に「タブレット」→「ペンタブレット」を選択します。
  注意：スタートメニューに「タブレット設定ファイルユーティリティ」がありますが、これはタブレットが正常に動作していない場合に、トラブルシューティングを参照しながらご利用いただくものです。
- **Macintosh**　「Finder」の「アップル」メニューあるいは「アプリケーション」フォルダから「システム環境設定」を開きます。「ペンタブレット」アイコンをクリックします。

コントロールパネルを開いて、Bamboo のカスタマイズを行います。

補足：1 台のコンピュータに複数のタブレットを取り付けている場合、コントロールパネルへの変更は、コントロールパネルを開くのに使ったタブレットにのみ適用されます。

コントロールパネル概要

コントロールパネルを使って、Bamboo ペン、タブレットをカスタマイズできます。

ペン、タブレットが表示されます。

コントロールパネルを閉じます。



選択したタブを標準設定にリセットします。

コントロールパネルおよびドライバに関する情報を表示します。

オンラインマニュアル（本書）を表示します。

コントロール上で設定をいろいろ試して、最適な設定を見つけてください。変更はすぐに反映されます。「標準設定」をクリックすると、タブは標準設定に戻ります。それぞれのタブの特徴と機能については、コントロールパネルの設定をご覧ください。

ヒントはほとんどのコントロールパネルの項目の上に表示されます。項目の上に画面のポインタを置いて、静止させておくだけで、ヒントがすぐにポップアップします。

さらに、キーボードのタブと矢印キーを使って、コントロールパネルを操作することができます。

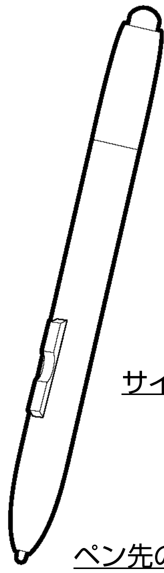
コントロールパネルの設定

ペンタブレットコントロールパネルを使う場合、参考としてこのセクションをお読みください。各タブについて、詳細に説明しています。セクションの多くには、カスタマイズに役立つヒントも含まれています。

ペンのカスタマイズ
タブレットの座標検出
ファンクションのカスタマイズ

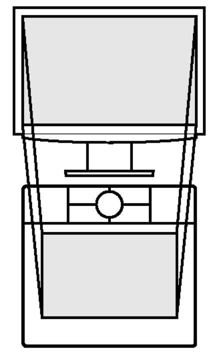
ペンのカスタマイズ

Bamboo ペンは簡単にカスタマイズできます。コントロールパネルを開いて、利用できるオプションから「ペン」タブを選択します。



サイドスイッチのカスタマイズ

ペン先の感触とダブルクリックの調整



タブレットの座標検出

ペン先の感触、ダブルクリックを調整する

Bamboo ペンの筆圧を調整するには、「ペン」タブを選択します。太い線を引きたい場合または軽いタッチでクリックする場合は、「ペン先の感触」のスライダを「柔らかい」へ移動させます。細い線を引きたい場合は、スライダを「硬い」へ移動させます。



クリックや、描画、インクに必要な筆圧をカスタマイズします。スライダをドラッグして柔らかいか、または硬いに設定します。

ダブルクリックのエリアとダブルクリックの速度を調整します。大きく設定すると、ダブルクリックが簡単になります。

チェックを入れた場合、コンピュータのスピーカがオンのときにペンでクリックすると、「カチッ」と音が聞こえます。

ヒント：

- 「ペン先の感触」を柔らかいほうへ設定すると、筆圧の感度が高まります。筆圧対応のグラフィックアプリケーションでは、この設定をおすすめします。
- アプリケーションによっては、柔らかい筆圧の設定に過剰に反応する場合があります。ペンを少し押しただけで画面に大きく広がったりします。このような場合は、「ペン先の感触」の設定を硬くしてみてください。
- ダブルクリック：ダブルクリックを簡単にするには、ダブルクリックする範囲（ダブルクリック距離）を大きくします。

  補足：グラフィックアプリケーションによっては、ダブルクリック距離を大きくしたことにより、ドラッグの動きやインクのストロークにも時間差が生じます。このような場合はダブルクリック距離を小さく設定し、サイドスイッチを使用してダブルクリックしてみてください（サイドスイッチを使うをご覧ください）。

サイドスイッチのカスタマイズ

「ペン」タブを選択して、Bamboo ペンのスイッチに割り当てる機能を変更します。各サイドスイッチには、マウスと同じよう操作できる機能が設定されています。プルダウンメニューから、設定する機能を選択します。



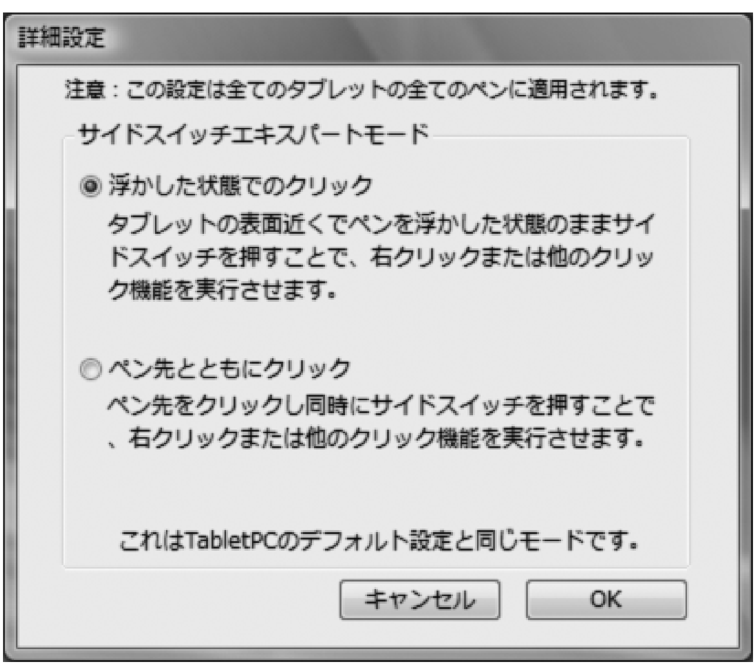
上部、または下部のサイドスイッチを押した場合に働くボタン機能を選択します。

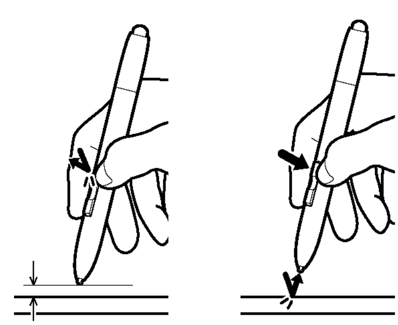
タブレットにペンを接触させずに、タブレット面から 5mm 以内にペン先を入れて、上部、または下部のサイドスイッチを押した場合、設定した機能が働きます。

ヒント：簡単にダブルクリックをおこなうには、「ダブルクリック」を選択すると、自動的にサイドスイッチがダブルクリックに設定されます。

補足：「サイドスイッチエキスパートモード」を変更して、右クリックなどのクリック機能を実行する場合の方法を変えることができます。「詳細設定」ボタンをクリックして「サイドスイッチエキスパートモード」を開きます。ダイアログボックスが表示されます。

- 「浮かした状態でのクリック」を選択した場合、ペン先をタブレット面に接触させずにクリック機能を実行することができます。
- 「ペン先とともにクリック」を選択した場合、クリック機能を実行するには、ペン先をタブレット面に接触させながらサイドスイッチを押します。「ペン先とともにクリック」では、正確な位置でクリックすることができます。Tablet PC のデフォルト設定です。

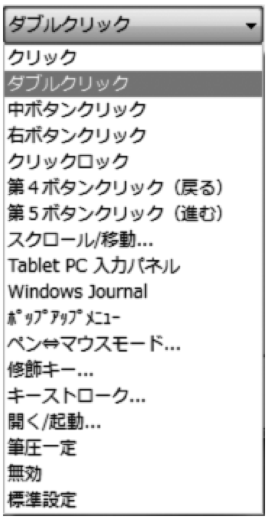




浮かした状態でのクリック　　ペン先とともにクリック

ボタン機能

以下のオプションは、ペンおよびタブレットのボタン設定に利用できます。すべてのオプションが利用できるとは限りません。



「クリック」 ペン先の標準設定です。このオプションは、マウスボタンのクリックに相当します。

「ダブルクリック」 ダブルクリックを行います。ペン先で 2 度たたく代わりにこの機能を使用すると、ダブルクリック操作が簡単になります。

「中ボタンクリック」 中ボタンクリックを行います。

「右ボタンクリック」 右クリックを行います。クリックすると、コンテキストメニューが表示されます。

「クリックロック」 スイッチを 1 回押すと、マウスの左ボタンを押してそのまま押し続けている状態になります。もう一度押すと、左ボタンから指を放すことに相当します。クリックロックは、オブジェクトをドラッグしたり、またはテキストブロックを選択する場合に便利です。

「第 4 ボタンクリック（戻る）」 マウスの第 4 ボタンを押すことに相当します。Windows システムでは、ブラウザアプリケーションで「戻る」機能を実行します。

「第 5 ボタンクリック（進む）」 マウスの第 5 ボタンを押すことに相当します。Windows システムでは、ブラウザアプリケーションで「進む」機能を実行します。

<u>「スクロール / 移動」</u> Bamboo ペンを使って、文書または画像を入力ウィンドウのなかで、自由に移動させることができます。

「Inkwell」(Macintosh)　Inkwell の Ink anywhere の機能をオンとオフに切り換えます。Inkwell は筆跡を認識して、テキストに変換し、ドキュメントに挿入します。この機能を使用するには、インクをオンにする必要があります。Inkwell の使い方については、Macintosh のヘルプをご覧ください。

補足：Inkwell は英語、フランス語、ドイツ語でのみお使いになれます。

「Tablet PC 入力パネル」 (Tablet PC 入力パネルをサポートする Tablet PC および Windows Vista システム)Tablet PC 入力パネルが開きます。

「Windows Journal」 (Windows Journal を含んだ Windows Vista および Tablet PC システム）Windows Journal を開きます。

「ペン⇔マウスモード ...」「ペンモード」と「マウスモード」を切り替えます。詳細については、ポインタの速度の設定 をご覧ください。

「修飾キー ...」　選択された修飾キーを押すことに相当します。

「キーストローク ...」　設定済みのキーストロークを実行します。

「開く / 起動 ...」　アプリケーションやファイルを開いたり、スクリプトを実行します。

「デスクトップを表示」　開いているウィンドウをすべて最小化して、デスクトップを表示します。

「タスク切り替え」　起動中のアプリケーションで、前面に表示させたいアプリケーションがタスク切り替えダイアログから選択できます。Aero を搭載した Windows Vista システムでは、3D フリップが起動して、前面に表示させたいアプリケーションを選択できます。

「Exposé」(Macintosh)　画面に開いているウィンドウをタイル表示します。

「筆圧一定」　＊サイドスイッチ、セカンドサイドスイッチのみ表示されます。スイッチが押されている間、筆圧を一定に保ちます。同じ太さの線を引くときなどに便利です。

「無効」　ボタン機能を無効にします。

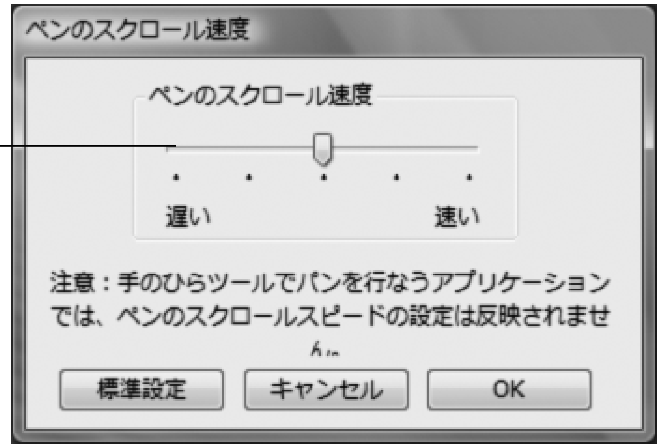
「標準設定」　標準設定にボタンを戻します。

- **「スクロール / 移動」**（ペンのみ）「スクロール / 移動」に設定されたサイドスイッチを押して、タブレットの操作エリアでペン先を滑らせるように動かすと、文書または画像をウィンドウ内で自由に移動させることができます。

  「スクロール / 移動」を選択すると、「ペンのスクロール速度」ダイアログボックスが画面に表示されます。書類または画像内での手のひらツールの移動機能をサポートしていないアプリケーションでのスクロール速度が設定できます。設定値を小さくすると、スクロール速度が下がることから、画像の正確な制御を必要とする細かい作業に有効です。

  - ペンのスクロール速度を遅くするには、スライダを「遅い」へ移動させます。
  - ペンのスクロール速度を速くするには、「速い」へスライダを移動させます。

  この設定は、グラバーハンドによるパン機能をサポートしたアプリケーションには適用されません。



- **「キーストローク」** キーストロークを実行することができます。このオプションを選択すると、「キーストロークを登録」ダイアログボックスが表示されます。1 つのキーストローク、または連続して再生されるようにキーストロークを入力することができます。

  手動で、1 つのキーストロークか、またはキーストロークを組み合わせて「キー」ボックスに入力することができます。

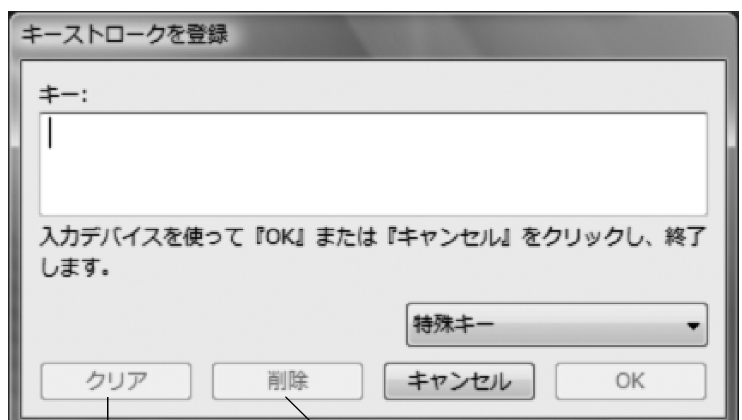
  キーストロークには、文字、数、F3 のようなファンクションキー、修飾キー（Windows では「Shift」、「Alt」、「Ctrl」、Macintosh では「shift」、「option」、「command」、「control」キー）を組み合わせることができます。

  「特殊キー」メニューから、特別なキーストローク、またはキーストロークの組み合わせを選択することもできます。選択すると、「キー」入力ボックスに追加されます。

  キーストロークを入力したら、「OK」をクリックします。

  > 重要：「Enter」キー (Windows) と「return」キー (Macintosh) は、定義するキーストロークとして入力することができます。「キーストロークを登録」ダイアログボックスの「OK」を選択するのに、使用しないでください。必ず Bamboo ペンを使用して「OK」ボタンをクリックしてください。

  ダイアログが表示されたら、キーストローク定義に名前を入力します。名前は、それぞれコントロールに表示されます。



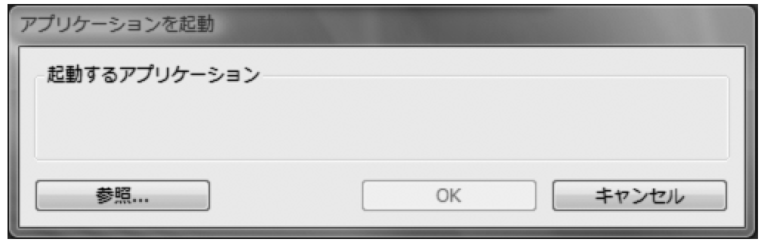
キーストローク入力ボックスに入力した最新の内容のみ削除します。

キーストローク入力ボックスをクリアにします。

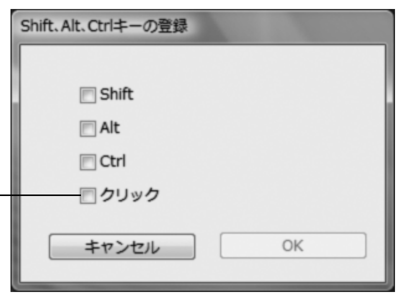
- **「開く / 起動 ...」** ダイアログボックスを開いて、起動する特定のアプリケーション、ファイル、またはスクリプトを選択することができます。

「参照 ...」ボタンをクリックして、起動するアプリケーションを選択します。選択したアプリケーションが、「起動するアプリケーション」ボックスに表示されます。

「OK」をクリックします。ダイアログボックスが閉じます。「開く / 起動 ...」オプションをデバイスボタンオプションとして割り当てます。次回デバイスボタンを押すと、選択したアプリケーション、ファイル、またはスクリプトが起動します。



- **「修飾キー…」** 修飾キー (Windows の「Shift」、「Alt」、「Ctrl」キーや、Macintosh の「Shift」、「Option」、「Command」、「Control」キーなど）を割り当てることができます。多くのアプリケーションでは、修飾キーを使用してメニューやツールを切り替えます。このオプションを選択すると、1 つまたは複数の修飾キーの機能を割り当てることができる「Shift、Alt、Ctrl キーの登録」ダイアログボックスが表示されます。修飾キーの機能を選択して、OK をクリックします。



タブレットの座標検出

「座標検出モード」オプションで、タブレット上のペンの動きと、モニタ画面上のポインタの動きとの関係を設定できます。標準設定では、タブレットの操作エリア全体が、モニタ全体にマッピングされます。複数のモニタを使用している場合、タブレットは、すべてのモニタにマッピングされます。複数モニタへのマッピングをご覧ください。



「座標検出モード」で画面のポインタの動きかたをコントロールします。

- 「ペンモード」を選択すると、画面上のポインタの動作がタブレット上の Bamboo ペンの動作に対応するように、ポインタが設定されます。これによって、タブレット上にペンを置くと、ポインタが、画面上の対応するポイントまでジャンプします。これは絶対座標で、Bamboo ペンの標準設定です。「詳細設定 ...」をクリックして、タブレットのマッピングをカスタマイズします。
- 「マウスモード」を選択すると、通常のマウスのように、動いた方向と距離に応じてポインタが移動します。「詳細設定 ...」をクリックして、ポインタの速度の設定を行います。

補足：「ペンモード」と「マウスモード」をよく切り替える場合は、サイドスイッチまたはファンクションキーのいずれかに「ペン⇔マウスモード ...」を割り当てることもできます。

「ペンモード詳細設定 ...」ボタンをクリックすると、「ペンモードの詳細設定」ダイアログボックスが表示されます。

「表示エリア」オプションで、タブレットに割り当てるモニタ画面の領域を選択します。

- **「全画面」** モニタ領域全体に割り当てられます。標準設定です。詳細については<u>複数モニタへのマッピング</u>をご覧ください。
- **「モニタ」** 指定したシングルモニタの領域全体に割り当てられます。
- **「一部分」** デスクトップ領域の一部分にマッピングします。「設定 ...」をクリックして、<u>表示エリア</u>を設定するダイアログボックスを開きます。



工場での標準設定に戻します。

「縦横比を保持」ボックスをチェックするか、またはチェックをはずして、タブレットと画面との関係を設定します。

- 「縦横比を保持」のチェックをはずした場合、正確な縮尺、比率は保持されません。選択したタブレットの操作エリアが、選択した画面の表示エリアに割り当てられます。タブレットに書き込んだ文字が、表示画面では歪んで見える場合があります。標準設定です。
- チェックを入れると、タブレットとディスプレイで、正確な縦横比が保たれます。タブレットに文字を書き込むと、表示画面でも正確な文字になります。設定によりますが、このオプションが選択されている場合、タブレットの操作エリアで利用できない領域があります。





「タブレット操作エリア」オプションを使って、タブレットを画面マッピングするタブレットエリアを選択します。

- **「最大」** タブレットの操作エリア全体を画面の表示部に割り当てます。標準設定です。
- **「一部分」** タブレットの操作エリアの一部分をモニタ画面に割り当てます。「設定 ...」をクリックすると、<u>タブレット操作エリア</u>を設定するダイアログボックスが表示されます。

補足：Bamboo は、16：10 の縦横比での表示に対して最適化されていますが、標準設定は、他の縦横比の表示に対して自動的に調整します。

複数モニタへのマッピング
コンピュータに複数モニタがある場合、「画面のプロパティ」コントロールパネルでの設定に基づいて、各モニタに割り当てられます。「全画面」が選択されていて、複数のモニタを使用して画面を拡張している場合、タブレットは、それを 1 つの画面として表示部全体に割り当てられます。モニタがミラーモードの場合、タブレットは各モニタの画面に割り当てられ、画面のポインタは各モニタに同時に表示されます。

複数モニタを使用するコンピュータとオペレーティングシステムの構成については、ハードウェアとオペレーティングシステムのドキュメントを参照してください。

表示エリア

「ペンモードの詳細設定」ダイアログボックスの「表示エリア」オプションで、タブレットをモニタ画面のどの部分に割り当てるかを定義することができます。

- **「全画面」** すべてのモニタの表示領域全体にマッピングします。標準設定です。詳細については複数モニタへのマッピングをご覧ください。
- **「モニタ」** 選択したモニタの表示領域全体にマッピングします。
- **「一部分」** タブレットに対してモニタ画面の一部分を割り当てることができます。「設定 ... 」をクリックすると、「画面の一部分」ダイアログボックスが表示されます。

次の中から、タブレットの一部分を定義する方法を選択してください。

- 前面の四角形の角をドラッグして、表示エリアを選択します。背面の図は、画面全体の領域を表わします。
- 表示エリアを指定するのに画面のポインタを移動させます。「開始」ボタンを選択します。「画面の一部分」を定義しながら、「メッセージ」に従って、マッピングに使用する表示画面の領域を設定します。

画面の一部領域を定義したあと、表示エリアのその他の領域にアクセスするには、別の入力デバイスを使用



タブレット操作エリア

「ペンモードの詳細設定」ダイアログボックスの「タブレット操作エリア」で、画面に割り当てるタブレットの操作領域を定義することができます。

- **「最大」** タブレットの操作エリア全体を画面にマッピングします。標準設定です。
- **「一部分」** このオプションで、タブレットの操作エリアの一部分をモニタ画面に割り当てます。「一部分」を選択すると、「操作面の一部分」ダイアログボックスを開きます。

次の中から、タブレットの一部分を定義する方法を選択してください。

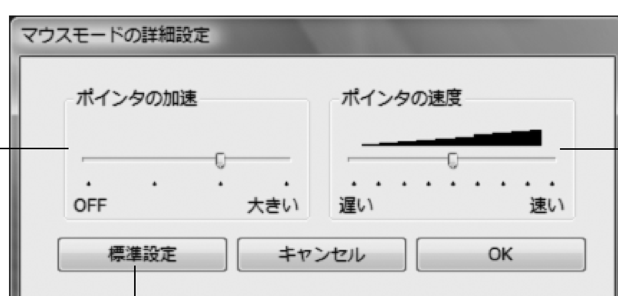
- 前面の四角形の角をドラッグして、モニタ画面に割り当てるタブレット操作エリアを設定します。
  背面の図は、タブレットを表わします。
- デバイスを使用して、タブレット操作エリアを選択します。「開始」ボタンをクリックします。「操作面の一部分」を定義しながら、表示される「メッセージ」に従って、割り当てるタブレットの領域を設定します。



ポインタの速度の設定

「マウスモード」で、画面のポインタの加速と速度を変更するには、「マウスモード詳細設定 ... 」ボタン（「ペン」タブに配置されています）をクリックします。ダイアログボックスが表示され、マウスの設定をカスタマイズできます。

「マウスモード」の場合に、ポインタの加速を設定します。



「マウスモード」の場合に、ポインタの速度を設定します。

工場出荷時の標準設定に戻します。

補足：デバイスボタンを「ペン⇔マウスモード ...」に設定すると、ダイアログボックスが表示されます。「マウスモード」の設定には、コントロールパネル内の多くの場所からアクセスできますが、カスタマイズする入力デバイスに、1 つの「加速」と「速度」しか設定できません。

ファンクションのカスタマイズ

「タブレット」タブを選択して、ファンクションキーとタッチホイールをカスタマイズできます。

プルダウンメニューから、キーを押したときに実行する機能を選択します。プルダウンメニュー、またはメニューの下に選択された機能が表示されます。

- 標準設定では、上側のキーを使って、インターネットブラウザでの「進む」と「戻る」操作をおこなうことができます。
- Windows Vista システムで、Windows Journal アプリケーションが利用できる場合、左下のキーはデフォルトで「Windows Journal」に設定されています。それ以外の OS の場合、このキーは、「デスクトップを表示」に設定されています。
- 右下のキーは、Windows システムの「タスク切り替え」、Macintosh システムの「Exposé」に標準設定されています。



タブの設定を標準設定に戻します。

タッチホイールのカスタマイズ：

- タッチホイールを使用したときに、実行する機能を選択します。「ズーム」が標準設定です。ズームが選択されていると、タッチホイールで、有効なウィンドウの文書と画像を拡大または縮小することができます。ホイールを「スクロール」に設定することもできます。利用しない場合は無効にすることもできます。
- ズームまたはスクロールの「スピード」を設定するには、オプションをプルダウンメニューから選択します。
- 速くスクロールするかどうかを設定できます。「高速スクロールを有効にする」にチェックを入れると (デフォルトの設定)、タッチホイールの上側または下側を指でたたくだけで、スクロールすることができます。この機能を使う詳細については、タッチホイールを使うを参照ください。

トラブルシューティング

もし、トラブルがあった場合、以下のことを行ってください。

1. ペンタブレットドライバが正しく読み込まれなかった場合、画面に表示されるエラーメッセージで推奨される処置をまず行なってください。それでも問題が解決されない場合は、本章のトラブルシューティング手順を参照ください。
2. トラブルシューティング情報をご覧ください。問題が記載されている場合、その指示に従ってください。
3. Windows の場合「お読みください」、Macintosh の場合「Read Me.rtf」を開いて、最新情報をお読みください。
4. タブレットとペンを診断します。タブレットとペンのテストをご覧ください。
5. Bamboo と新しいハードウェア、またはソフトウェア製品間に互換性の問題が発生した場合、新しいタブレットドライバが利用できるかチェックしてください。更新したタブレットドライバのダウンロードに関する情報については、ドライバのダウンロードをご覧ください。ワコムは新しい製品との互換性を維持するためにドライバソフトウェアを定期的に更新しています。
6. ワコムのホームページの FAQ（よくある質問）を参照してください。
7. このマニュアルの解決のポイントを読んでも、問題が解決しそうにない場合、ワコムのサポート窓口にお問い合わせください。サポートに関する情報については、テクニカルサポートおよび Read Me ファイルをご覧ください。

タブレットとペンのテスト
トラブルシューティング情報
テクニカルサポート
ドライバのダウンロード

タブレットとペンのテスト

1. コンピュータのスイッチを入れて、システムが完全に読み込まれるまで待ちます。
2. **接続をチェックします。**タブレットのファンクションキーが正しく接続され、コンピュータがそれをUSB デバイスとして認識すれば、タブレットのステータスリングが点灯します。そうならない場合は、以下をご参照ください。
   - タブレットの USB ケーブルが、タブレットとコンピュータ（本体）の USB ポートにしっかり接続されていることを確認します。
   - ケーブルが損傷していないかチェックしてください。または、他のケーブルを使用してください。
   - 別の USB ポートにタブレットを接続するか、または別のコンピュータ（本体）の USB ポートに接続してみてください。
   - コンピュータのスイッチを入れて立ち上げた後、タブレットのファンクションキーが点灯しなければ、USB ポートの故障が考えられます。タブレットが有効な USB ポートに接続されていることを確認します。
3. **タブレット診断を起動します。**まず、コントロールパネルを開いて、「タブレット」タブを選択します。プルダウンメニューを使って、ファンクションキーをすべて「無効」にします。左上と右下のファンクションキーを 3 秒間、押し続けます。
   - ファンクションキーを順番に押してチェックします。キーを押すごとに、すべてのファンクションキーグが明るく点灯します。
   - タッチホイールを回すように指を動かしてチェックします。ホイールに触れると、すべてのファンクションキーが明るく点灯します。
   - まず、コントロールパネルを開いて、「ペン」タブを選択した後、ペンをチェックします。「標準設定」ボタンをクリックして、ペンを標準設定に戻します。次に、以下の手順でチェックします。

     A. タブレットの操作エリアにペン先で触れた後、消しゴムで触れます。ペン先または消しゴムがタブレットの表面に触れるごとに、すべてのファンクションキーが明るく点灯すれば正常です。

     B. ペン先に圧力を加えることなく、タブレット表面から約 5mm 以内にペン先を保持して、順番にサイドスイッチを押します。サイドスイッチを押すごとに、すべてのファンクションキーが明るく点灯すれば正常です。

     C. タブレットの表面には触れることなく、近くに保持しながら、ペンをタブレットの操作エリアで移動させます。画面のポインタが、モニタまたは表示画面の対応する方向に移動すれば正常です。

   完了すれば、左上と右下のファンクションキーを約 3 秒間押し続けることによって、診断モードを終了します。コントロールパネルで「タブレット」タブを選択して、プルダウンメニューを使って、ファンクションキーを以前の設定に戻します。

4. **タッチホイールのチェック**。コントロールパネルを開いて、「タブレット」タブを選択します。「標準設定」ボタンをクリックして、タブレットを標準設定に戻します。
   - Microsoft Office アプリケーションまたは画像ファイルを開きます。
   - タッチホイールに沿って右回りに指を動かして、画像を拡大します。
   - タッチホイールに沿って左回りに指を動かして、画像を縮小します。
5. **ファンクションキーのチェック**。コントロールパネルを開いて、「タブレット」タブを選択します。「標準設定」ボタンをクリックして、タブレットを標準設定に戻します。
   - インターネットのブラウザを開いて、リンクをクリックします。左上のファンクションキー「<」を押して、ブラウザ内を戻る方に移動します。右上のファンクションキー「>」を押して、ブラウザ内を進む方に移動します。
   - 左下のファンクションキー「FN1」を押します。Windows Vista（Home Basic を除く）の場合、Windows Journal が立ち上がります。そうでない場合、開いているすべてのウィンドウが最小化され、デスクトップが表示されます。
   - 右下のファンクションキー「FN2」を押します。Aero を搭載した Windows Vista（Home Basic を除く）では、開いているアプリケーションを対象に、3D フリップが立ち上がります。そうでない場合、開いているアプリケーションを対象に、ウィンドウ切り替えダイアログが表示されます。Macintosh では、開いているすべてのウィンドウがタイル表示されます。
6. これらのテストのいずれかに不合格の場合、ハードウェアの故障が考えられます。テクニカルサポートをご覧ください。
7. テストの後、コントロールパネルを使って、タブレットとペンを元の標準設定に戻します。

トラブルシューティング情報

ペン、またはタブレットで問題が生じた場合、次の表を参照してください。問題が説明され、解決策が提供されていたら、試してください。または、「Read Me」ファイルを参照してください。最新の情報が記載されています。

問題のより詳細な情報については、ワコムのホームページ（http://tablet.wacom.co.jp/）をご覧ください。

一般の問題

タブレットのファンクションキーが点灯しない。	タブレットの USB ケーブルが、タブレットと有効な USB ポートに正しく接続されていることを確認します。
ペンを使ったタッチホイールの操作で、タッチホイールが正しく動作しない。	タッチホイールは、指または類似した形状の物で使用されるように作られており、ペン先では接触エリアが小さいことから、正しく動作しません。
ペンがマウスモードでのみ動作する。筆圧感触を使用してインクまたはスケッチができない。	タブレットドライバがインストールされていないか、または適切に読み込まれていません。タブレットドライバがインストールされていて、動作するか確認してください。Bamboo ペンタブレットドライバ CD をコンピュータに挿入して、タブレットのドライバソフトウェアをインストールします。
クリックが利かない。	「ペン先の感触」を柔らかくしてください（ ペン先の感触、ダブルクリックを調整するをご覧ください）。 ペンでマウスのクリックを行なうと聞こえるように、「クリック音」オプション（チェックボックスのチェックが必要です）を選択します。「クリック音」を聞くには、コンピュータのスピーカを ON にして、聞こえるようにボリュームを設定しなければなりません。

ペン先でダブルクリックが利かない。	タブレットの操作面の同じ場所を 2 回、速くたたいていることを確認してください。 サイドスイッチでダブルクリックすることをお勧めします (クリックの方法をご覧ください)。 ペン先の感触、ダブルクリックを調整するをご覧ください。 ・ 「ダブルクリック距離」を大きくしてみます。 ・ 「ペン先の感触」を柔らかく設定します。 Windows：1 回のクリックでプログラムが起動するように設定します。 クリックをご覧ください。
ペンがあらゆるものを選択する。選択が解除できない。	コントロールパネルを開いて、「ペン」タブを選択します。「ペン先の感触」スライダを「硬い」方に動かします。これで効果がない場合は、タブレットとペンのテストをご覧ください。
消しゴムがあらゆるものを選択する。消し続ける。	タブレットとペンのテストをご覧ください。
インクのストロークの開始が遅れる。	「ダブルクリック距離」を小さくしてみます (ペン先の感触、ダブルクリックを調整するをご覧ください)。
クリックしたり描画する場合、ペンを強く押さなければならない。	コントロールパネルを開いて、「ペン」タブを選択します。「ペン先の感触」スライダを「柔らかい」方に動かします。
ペン先が利かない。	必ずペンタブレットに付属のペンを使用してください。他のペンは、Bamboo タブレットで正しく機能しない場合があります。 タブレットとペンのテストを参考に、ペン操作を確認してください。テストのいずれかが不合格の場合は、ハードウェアの故障が考えられます。
サイドスイッチが利かない。	タブレットの操作面から 5mm 以内にペン先が近づいたとき、サイドスイッチを押しているか確認してください。ペン先でタブレットを押さずにこれを行ってください。 コントロールパネルで、「ペン」タブの「詳細設定」ボタンをクリックします。「ペン先とともにクリック」を選択した場合、クリック機能を行なうには、最初にサイドスイッチを押してから、ペン先でタブレット表面に触れる必要があります。 サイドスイッチのカスタマイズをご覧ください。 コントロールパネルで、実行したい機能にサイドスイッチが設定されていることを確認してください。 タブレットとペンのテストを参考に、ペン操作を確認してください。テストのいずれかが不合格の場合は、ハードウェアの故障が考えられます。

画面のポインタがジャンプして引き戻される。	使用していないときや、他のデバイスを使用しているときには、タブレットの上にペンを置かないでください。タブレットの上に置いたままにして、ほかの入力デバイスを利用すると、画面のポインタの位置決めができなくなる場合があります。
ポインタが画面上の思う位置に移動しない。またはペイントアプリケーションで、描いた線とポインタの位置が合わない。	コントロールパネルを開いて、「マッピング」タブを指定します。「ペン」モードが選択され、選択したデバイスとアプリケーションに対して「表示エリア」が「操作面全体」に設定されていることを確認してください。効果がない場合、「標準設定」ボタンをクリックして、画面のマッピングにタブレットを回復します。それでも効果がない場合、タブレットの設定ファイルを削除してください（次の項目をご覧ください）。
タブレットの設定ファイルが壊れている。または、設定ファイルを標準設定の状態にもどす。	次のようにしてタブレットの設定ファイルを削除します。 **Windows**：「スタート」メニューをクリックし、「すべてのプログラム」を選択します。次に、「タブレット」または「ペンタブレット」→「タブレット設定ファイルユーティリティ」を選択します。ダイアログボックスから、「この設定ファイルを削除」ボタンをクリックして、カレントユーザーの Preference を削除します。Windows Vista や XP 上の複数のユーザーの Preference を削除するには「すべての設定ファイルを削除」ボタンをクリックします。すべてのユーザーの Preference を削除するには administrator 権限が必要です。実行中の、現在開いているタブレット用アプリケーションを再起動してください。 **Macintosh**：シングルユーザーの場合、初めに「移動」メニューから「ホーム」フォルダを選択します。次にホーム「ライブラリ」フォルダを開きます。ホーム「ライブラリ」フォルダの中の「Preference」フォルダを開いて「com.wacom.pentablet.prefs」ファイルを削除します。ログアウトしてログインします。タブレットドライバが読み込まれると、標準設定の状態で新しい設定ファイルが作成されます。 複数ユーザーの場合、「アプリケーション」フォルダを開きます。次に、「ペンタブレット」フォルダを開いて、「タブレットドライバの削除」ユーティリティを実行します。ユーティリティを起動して、「すべての設定ファイルを削除」ボタンをクリックします。ログアウトして、ログインします。タブレットドライバが読み込まれると、標準設定の状態で新しい設定ファイルが作成されます。 **補足**：「Pen Tablet.prefpane」ファイルを「ライブラリ」フォルダの「PreferencePanes」フォルダから手動で削除しないでください。このファイルは、タブレットドライバをアンインストールする場合と、今後「タブレットドライバの削除」ユーティリティを使用する場合にのみ削除されます。
コンピュータが節電モードにならない。	ペンを使用しない場合、タブレット面の上に置かないでください。置いたままにすると、タブレットはデータを送り続け、コンピュータは節電モードにはなりません。
画面のポインタが揺れたり、飛び回ったりする。	まれに、タブレットはコンピュータモニタあるいは AM ラジオ局から電磁波の影響を受ける場合があります。モニタからの電磁波による影響に気付いた場合、タブレットをモニタから少なくとも 30cm ほど離してみてください。あるいは、モニタのリフレッシュレートまたは解像度を変更してください。

Windows の問題

システムのマウス・コントロールパネルで右利きと左利きの設定を変更すると、ペン先が正しく機能しない。	この操作は、入力デバイスの左右のボタン設定を反転させせます。ワコムデバイスの設定を正しく認識させるには、Windows を再起動させます。

Macintosh の問題

コンピュータを起動すると、ドライバの読み込みに失敗したか、あるいはタブレットの設定ファイルがまだ作成されていないという内容のダイアログボックスが表示されます。	タブレットが、起動時に検出されませんでした。USB インタフェースケーブルが、タブレットと、コンピュータの有効な USB ポートに接続されていることを確認します。タブレットのファンクションキーが点灯していることも確認します。 「移動」メニューから、「ユーティリティ」フォルダを選択して、「システムプロファイラ」を立ち上げます。「内容」のなかの「ハードウェア」から、「USB」を選択します。ワコム USB タブレットの機種がリストされています。タブレットの機種がリストにない場合、USB タブレットのケーブル接続をチェックするか、タブレットを別の USB ポートに接続してみます。 これで解決しない場合は、ワコムのテクニカルサポートに連絡してください（テクニカルサポートをご覧ください）。
Inkwell（インクウェル）が、タブレットで正しくしない。	Inkwell（インクウェル）に問題があるかもしれません。次のようにして、損傷した設定ファイルを削除します。手書き入力認識が有効な場合、設定ファイルは再作成されます。 1. アップルメニューから「システム環境設定」を選択します。システム環境設定メニューから、「すべてを表示」を選び、「Ink」を選択します。次に「手書き認識」を「切」にします。 2. 「移動」メニューから、「ホーム」を選択します。「ライブラリ」を開いて、「Preferences」フォルダを開きます。次に、次の「設定」を削除します。 ・ com.apple.ink.framework.plist ・ com.apple.ink.inkpad.plist ・ com.apple.ink.inkpad.sketch 3. 再度、「システム環境設定」→「Ink」を選択します。「手書き認識」を「入」にします。 4. ペンタブレットとペンを使って、Inkwell（インクウェル）機能をテストします。 5. この処理で Inkwell（インクウェル）の問題が解決されずに、さらに支援が必要な場合はアップルのサポートに連絡してください。ワコムは Inkwell（インクウェル）についてのサポートは行っておりません。

テクニカルサポート

ペンタブレットに問題がある場合、初めにタブレットのクイックスタートガイドを読んで、正しくインストールされていることを確認してください。次に、このマニュアルの中のトラブルシューティングの処理を見直してください。問題の内容が記述され、解決法が示されています。

このマニュアルの中に解決法が見つからない場合、プラットフォームの「Read Me」ファイル（Bamboo ペンタブレットドライバ CD にあります）に、問題に関する最新情報が記載されていることがあります。ワコムのホームページの製品 FAQ（よくある質問）もチェックしてください。

インターネットが接続できる場合は、ワコムのホームページから最新のソフトウェアドライバがダウンロードすることができます。ドライバのダウンロードをご覧ください。

問題が解決せず、ペンタブレットが適切に動作しないと思われる場合、ワコムのサポートスタッフに連絡してください。連絡先については、「サポート窓口について」またはペンタブレットドライバ CD の「Read Me」ファイルをご覧ください。

電話によるサポートを受ける場合、次の情報を用意してください。

- 本書
- タブレットのシリアルとモデル番号（タブレットの背面をご覧ください）
- ドライバのバージョン（Bamboo ペンタブレットドライバ CD をご覧ください。あるいはコントロールパネルの「タブレットについて」ボタンをクリックしてください。）
- コンピュータの製造元と型式、および OS のバージョン
- コンピュータに接続された周辺機器のリスト
- 問題が発生したときに使用していたソフトウェアアプリケーションとバージョン
- 画面に表示された正確なエラーメッセージ
- 問題が発生したときに起こったことにどう処置したか
- どのように問題を解決しようとしたか

ドライバのダウンロード

ワコムは新しい製品との互換性を維持するために、定期的にタブレットドライバを更新します。機能を最適に使用するためにドライバを定期的に更新することをお勧めします。新しいタブレットドライバ（利用できる場合）は、ワコムのホームページからダウンロードすることができます。

ダウンロードページ：http://tablet.wacom.co.jp/support/

付録

このセクションは、デジタルインク、タブレットと入力デバイスのお手入れ、タブレットのソフトウェアをアンインストールする方法、ライセンス、保証などに関する情報を説明しています。

Windows Vista でのペンおよびデジタルインク機能

Microsoft Windows Vista（Home Basic を除く）は、ペン入力あるいはタッチ入力をサポートしています。Windows Vista（Home Basic を除く）が稼働するコンピュータでは、手書きメモ帳機能や手書き文字認識機能、ジェスチャー機能、さらには 2007 Microsoft Office system のデジタルインク機能を活用することができ、Bamboo ペンを使用することにより、素早く直感的な操作、表現が可能になります。

- **手書きメモ帳機能**　Windows Vista の「Windows Journal」をペンタブレットで操作すれば、手書きメモや図形をファイルに直接書き込むことができます。
- **手書き文字認識機能**　Windows Vista の「手書き文字認識機能」は、ペンタブレットで書いた手書き文字を、素早くテキストに変換する機能。クセ字を学習する高性能な手書き認識エンジンも搭載され、書いた文字を正確に認識します。
- **ジェスチャー機能**　新機能「ペンフリック」はタブレット上でペンを動かすだけで、パソコン操作を可能にします。上下左右斜めの 8 方向へのペンの動きにショートカットなどを設定でき、キーボードを使わずに簡単操作ができます。
- **Office2007 デジタルインク機能**　「2007 Microsoft Office system」の各アプリケーション（Word・Excel・PowerPoint・Outlook）では、ペンタブレットを接続することで、ペンによる手書き文字や図形などを自在に書き込めるデジタルインク機能が使用できます。ファイル上での手書き校正などが可能になります。

Windows Vista Tablet PC 入力パネルについて

Windows Vista Tablet PC 入力パネルによって、Bamboo を使って手書きするか、画面上のキーボードでテキストを直接入力することができます。以下のようにして入力パネルを起動することができます。

- 画面のポインタをテキスト操作エリアに移動すると表示される入力パネルのアイコンをクリックします。
- 標準設定で表示画面の左端に配置されている入力パネルのタブをクリックします。
- Windows のタスクバーに配置されている「Tablet PC 入力パネル」アイコンをクリックします。アイコンが見えない場合は、タスクバーを右クリックして、「ツールバー」、「Tablet PC 入力パネル」を選択します。

入力パネルのカスタマイズは以下の手順で行います。

1. 初めに、入力パネルを開いて、メニューバーの「ツール」をクリックします。
2. 「オプション」を選択して、入力パネルオプション・ダイアログボックスを開きます。
3. 作業しやすいように、入力パネルの設定をカスタマイズします。

Microsoft Windows Vista および Office 2007 の使用については、システムおよび Microsoft Office アプリケーションに付属の資料を必ず参照ください。

Windows Vista での Bamboo の使用に関する詳細については、ワコムのウェブサイト www.wacom.co.jp/vista もご覧ください。

タブレットとデバイスのお手入れ

Bamboo デバイスとタブレット面は清潔にお使いください。ちりや砂ぼこりはデバイスに付いて、タブレットの光沢面を傷をつけてすり減らします。柔らかく湿った布で定期的に拭くと、タブレットとデバイスを長期間ご利用いただけます。水で薄めた刺激の少ないせっけんを使用して、布を湿らせることもできます。シンナー、あるいはベンジンのような揮発性の液体は使用しないでください。プラスチックケースを傷める可能性があります。

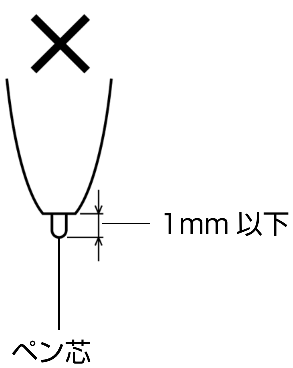
タブレットを清潔に、涼しい場所で、極端な温度変化を避けて保管してください。Bamboo デバイスとタブレットは分解しないでください。ペンを強くねじると、ペンが壊れる可能性があります。製品を分解すると、保証が無効になります。

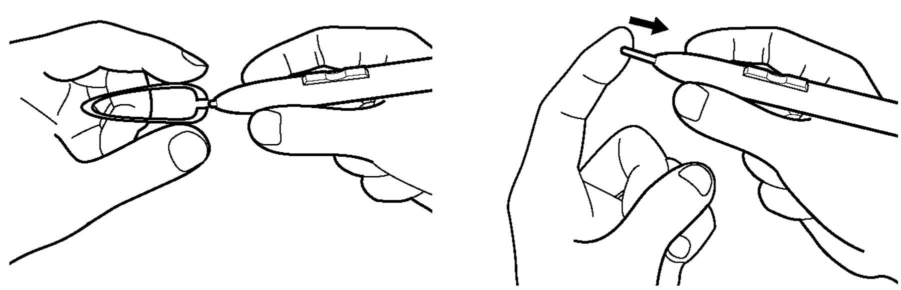
> 重要：タブレットやペン、マウスに液体をこぼさないように注意してください。タブレットや、マウス、サイドスイッチ (ペン先および消しゴムを含む) を濡らさないよう、特に注意してください。液体が入ると故障するデリケートな電子部品が入っています。

芯を交換する

ペン芯は、使っていく間に磨り減っていきます。先が短くなったり、平らになった場合には、ペン先を取り替えることができます。ピンセットや毛抜きなどで古くなったペン先をつかんで、ペンから真っ直ぐ引き抜きます。

次に新しい芯の先を、止まるまで差し込んでください。
注意：芯はオプション品です。





重要：Bamboo ペンを使用していない間は、ペンスタンドに置くか、あるいは机の上に横にして置いてください。ペンの感度を維持するために、ペン先や消しゴムが押されてしまうような入れ物には収納しないでください。

> 警告：子供がペン先やサイドスイッチを飲み込まないようにご注意ください。ペン先またはサイドスイッチは、子供がそれを噛んだりすると抜ける場合があります。

タブレットドライバのアンインストール

タブレットドライバをシステムからアンインストールするには、以下の方法で行ってください。

重要：タブレットドライバをシステムからアンインストールすると、ペンタブレットのタブレット機能は動作しませんが、マウスとしては機能します。

補足：タブレットドライバをアンインストールすると、オンラインマニュアルも削除されます。

Windows Vista または Windows Vista x64　「スタート」ボタンをクリックして、コントロールパネルを選択します。「コントロールパネル」ウィンドウで、「プログラムと機能」をクリックします。ダイアログボックスから「タブレット」または「ペンタブレット」オプションを選択します。「アンインストール」ボタンをクリックして、画面の指示に従ってタブレットドライバを削除します。(画面の指示があれば、ユーザー名とパスワードを入力します。）

Windows XP または XP x64　「スタート」をクリックして、「スタート」メニューから「コントロールパネル」を選択します。次に、「プログラムの追加と削除」を選択します。「プログラムの追加と削除」ウィンドウで、「タブレット」または「ペンタブレット」を選択して「削除」ボタンをクリックします。画面の指示にしたがい、タブレットドライバを削除します。

Windows 2000　Windows の「スタート」ボタンをクリックします。次に、「設定」、「コントロールパネル」を選択します。「コントロールパネル」ウィンドウで、「プログラムの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。ダイアログボックスから「タブレット」または「ペンタブレット」オプションを選択します。「プログラムの追加と削除」ボタンをクリックして、画面の指示に従ってタブレットドライバを削除します。

Macintosh　「Finder」の「移動」メニューから「アプリケーション」を選択して、「ペンタブレット」フォルダを開きます。「ペンタブレットの削除」アイコンをダブルクリックして、「タブレットドライバの削除」ボタンを選択します。「ユーザー名」と「パスワード」を入力します。削除が終了したら、「OK」をクリックします。

補足：パスワードとは Mac のログインパスワードです。

製品仕様

仕様

読取分解能	0.01mm
読取精度（ペン）	+/ − 0.5mm
読取可能高さ（ペン）	平均 3 ～ 5mm
読取速度	133 ポイント / 秒
ファンクションキータブレットストローク	約 0.25mm
インタフェース	USB
コネクタ	USB A タイプ
電源電圧／消費電流	5V ／ 50mA 以下　USB ポートから供給
温度	5 ～ 40 ℃
保管温度	− 10 ～ 60 ℃
湿度	20 ～ 80%（結露がないこと）
保管湿度	20 ～ 90%（結露がないこと）
適合規格	FCC Class B, CE, VCCI Class B, BSMI, C-Tick, MIC, GOST-R, RoHS, Chinese RoHS, Industry Canada Class B
タッチホイール	5 度分解能

Bamboo タブレット（MTE-450A）

読取可能範囲（W x D）	147.6 x 92.3 mm
外形寸法（W x D x H）	200 x 186 x 10.7 mm（ゴムの脚部を含む)
縦横比	16：10
ケーブル長さ	1.5 m
重量	約 370 g（ケーブルの重さを含む）
消費電力	約 0.25 W

Bamboo ペン（EP-150E）

外形寸法 (L x D)	約 142.5 x 11.4 mm
筆圧レベル	512 レベル
ペン先の動作ストローク	約 0.1 mm
消しゴムの動作ストローク	約 1.0 mm
重量	約 12 g
芯の材質	高密度ポリアセタール（No. PSI-A048-01）、黒

製品情報

Bamboo に関する詳細や、ペンタブレットと入力デバイスの筆圧、消しゴム機能などをサポートするソフトウェアアプリケーションについては、ワコムのホームページ（http://tablet.wacom.co.jp/）をご覧ください。

製品の保証について

ハードウェアの保証

取扱説明書、および本体添付ラベル等の注意書きに従って正しく使用したにもかかわらず、お買い上げから 1 年以内に万一ハードウェアが故障した場合には、無償で修理させていただきます。ハードウェアとはタブレット本体とその付属品です。ただし、電子ペンの替え芯などの消耗品と CD-ROM などのメディアは除きます。弊社カスタマーサポートセンターにご連絡いただき、カスタマーサポートセンターが故障を確認しましたら、電子機器サポートへ直接お送りください。

万一、ご購入時点で既に製品に不良があった場合。

(ｲ) 必ず購入日から 1 週間以内に弊社カスタマーサポートセンターにご連絡ください。カスタマーサポートセンターで製品が不良であることが確認された場合に限り、製品の交換をお受けいたします。お客様自身の判断による不良品としての交換、返品は一切応じかねますのでご注意ください。製品の交換の際は、不良内容を明記して販売店にお返しください。

(ﾛ) 1 週間以降の場合は、(ｲ) に準じ、修理扱いとなります。

次にあげる場合には、保証期間中であっても保証の対象とはなりません。

(ｲ) 誤ったご使用方法による故障、または損傷。

(ﾛ) 落下などによる故障、または損傷。

(ﾊ) お客様が改造または修理されたためと認められる故障、または損傷。

(ﾆ) 災害、あるいは異常電圧などの外部要因による故障、または損傷。

(ﾎ) 接続している他の機器の故障に起因して本製品に故障を生じた場合。

(ﾍ) 保証書の呈示がない場合、または保証書に押印やお買い上げ日など必要事項の記入がない場合、または保証書の字句を書き換えられた場合。

本製品の修理を依頼される場合は、ワコム製以外の機器を取り外してからお送りください。

故障等により製品を弊社に送付いただく場合の費用は、お客様がご負担ください。お客様への返却費用は弊社の負担とさせていただきます。

本保証は日本国内においてのみ有効です。

弊社は本製品の運用を理由とする損失や逸失利益などにつきましては、いかなる責任も負いません。

本保証はここに明示してある期間、条件のもとにおいて本製品の無償修理を行なうことをお約束するものです。したがって本保証によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについては、弊社カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

タブレットドライバについて

タブレットドライバの著作権はワコムにあります。タブレットドライバはワコムのタブレットと共に使用する場合に限り、コピーしたり使用することができ、それ以外の条件ではコピーしたり使用することはできません。

タブレットドライバは、複数のコンピュータにインストールしてご使用いただくことができますが、ワコムが動作保証をするのは、そのうちの 1 台のみとします。

中古品、譲渡品についてはすべての保証はありません。

将来発売される新しい OS およびハードウェアプラットフォームに対して、ワコムはそれに対応したドライバを提供することをお約束はいたしません。また、ドライバの提供を行う場合も、基本的に新しいドライバを販売するものとし、無償での提供はいたしません。

付属のタブレットドライバは、この製品が出荷された時点で最新のものです。その後、品質をさらに向上させたり、市販のコンピュータのハードウェアやオペレーティングシステムが新しくなったときは、それらに対応するため随時バージョンアップを行っています。このようなドライバのバージョンアップについての情報は、弊社のホームページでお知らせいたします。

製品に付属しているドライバに問題があると思われる場合や、コンピュータを買い替えられたことによって、タブレットの動作に問題が起きた場合は、現在お使いのドライバが最新のものかどうかを、弊社サポート窓口にご確認ください。最新版のドライバを入手することにより解決することがあります。

また、弊社はタブレットドライバについて、市販されているすべてのハードウェアやソフトウェアとの間で、一切の問題を起こさずに動作することを保証しておりません。市販されているハードウェアやソフトウェアとの間で問題があった場合は、可能な限り解決のための努力をいたしますが、弊社のみでは解決できない問題もあることをご了承ください。

用語

操作エリア　Bamboo デバイスが検出されるタブレットの描画領域。

縦横比　タブレット、またはモニタ画面の縦と横の比率。

クリック圧　クリックするとき、ペン先にかかる力の大きさ。

デジタルインク　コンピュータへのペン入力で作成した手書きのコンテンツについての総称。この手書きのコンテンツには、画像、インク・マークアップ、手書きがあります。手書きのコンテンツは、キーボード入力されたテキストに変換するか、手書きのままで使用することができます。システムおよびアプリケーションの設定に応じて、デジタルインクによる手書きのテキストを書き終わった文字からすぐに変換するようにもできますし、最後にまとめて変換することもできます。

ダブルクリック距離　ペン先でダブルクリックするときに、2 回目のクリックがずれてもよい距離を画面のドット数で表します。ダブルクリック距離を大きくすると、ペン先でダブルクリックはしやすくなりますが、グラフィックアプリケーションによっては、線の引き初めにポインタがダブルクリック距離の外へ出るまで線が現れないことがあります。

消しゴム対応アプリケーション　Bamboo の消しゴムがサポートされているソフトウェアアプリケーション。アプリケーションのサポートにもよりますが、別のかたちで消しゴムが利用されることがあります。

ファンクションキー　ペンタブレットに装備されたカスタマイズできるコントロールキー。

Windows Journal　紙のメモ帳の電子版だが、デジタルノートだけの特長も備えた Microsoft Windows アプリケーション。例えば、簡単に描画や手書きのメモを作成して、テキストに変換した後、デジタルデータとしてほかの人たちに送ることができます。Windows Journal には、様々なペン、マーカー、ハイライトツールに加えて、Bamboo ペンの消しゴムで動作する消しゴム機能が備えられています。Windows Journal では、手書きのコンテンツも検索できます。

マッピング　タブレット上の Bamboo デバイスの位置とモニタ画面上のポインタの位置との関係。

修飾キー　修飾キーには、Windows では「Shift」、「Alt」、「Ctrl」キーが、Macintosh では、「shift」、「control」、「command」、「option」キーが含まれます。Bamboo デバイスを修飾キーが実行されるようにカスタマイズすることができます。

マウスの加速　Bamboo デバイスがマウスモードのとき、ポインタの加速を調整することができます。

マウスモード　ポインタの位置決めの方法。Bamboo デバイスをタブレット上に置くと、ポインタは、従来のマウスと同様に動いた方向と距離に応じて移動します。これは相対位置で、Bamboo マウスの標準設定です。ペンモードもご覧ください。

マウス速度　Bamboo デバイスがマウスモードのとき、ポインタのスピードを調整することができます。

芯　ペン先で交換が可能な部分。

ペンモード　ポインタの位置決めの方法。Bamboo デバイスをタブレット上に置くと、画面のポインタは、画面上の対応点にジャンプします。これは絶対座標で、Bamboo ペンの標準設定です。「ペンモード」では、先に画面上でポインタを見つける必要はなく、ポインタをすぐに配置させることができます。デスクトップを横切るようにポインタを移動させます。マウスモードもご覧ください。

ピクセル　モニタ画面上の最小の測定単位。

ポップアップメニュー　実行可能なキーストローク機能と他の操作を表示するウィンドウ。このメニューを表示するのに、Bamboo デバイスとタブレットのボタンをカスタマイズします。

筆圧対応　ペン先にかかる圧力を感知します。筆圧に対応したアプリケーションで、自然な感じに文字を書いたり、色を塗ったりできます。ブラシの太さなども調節できます。

筆圧対応アプリケーション　筆圧をサポートするアプリケーション。

読み取り高さ　Bamboo デバイスが検出されるタブレットの操作エリアからの高さ。ポインタの移動もご覧ください。

画面のポインタ　表示画面のポインタ。ポインタは、起動しているアプリケーションにより、I 型ポインタ、矢印、あるいはボックスなどさまざまな形に変わります。

Tablet PC 入力パネル　Microsoft Windows Vista Tablet PC 入力パネルで、Bamboo ペンを使って手書きメモを作成したり、画面上のキーボードを使って文字入力を行うことができます。入力パネルは、手書き文字をテキストに変換します。Tablet PC 入力パネルから入力した文字を文書や表計算、イラストに挿入できます。Windows Vista でのペンおよびデジタルインク機能をご覧ください。

タッチホイール　ペンタブレットに配置されたコントロールホイールで、カスタマイズが可能。

USB　Universal Serial Bus。コンピュータの周辺装置を接続するためのハードウェアインタフェースの基準。USB ポートはホットプラグをサポートし、これにより、コンピュータの電源を切らなくても USB デバイスの取り外しができます。

Wintab　タブレットの情報を受け取る Windows アプリケーションによって使用されるインタフェースの基準。Bamboo は、Windows 環境で Wintab と互換性のあるアプリケーションをすべてサポートします。

索引

サポート窓口について

本機についてのお問い合わせは、ワコムカスタマーサポートセンターまたはワコムホームページまで、消耗品などのご購入についてはワコムストアまでご連絡ください。

サポート窓口のご案内

本機の操作についてのご質問、動作不良についてのご相談を承ります。

ワコムカスタマーサポートセンターのご案内

ナビダイヤル 0570-05-6000

受付時間 平日 9:00 ～ 20:00 土曜日 10:00 ～ 17:00
（日曜、祝日、夏期および年末年始の特定休業日を除く）

ナビダイヤルは、NTT コミュニケーションズ株式会社のサービスです。ダイヤル Q^2 などの有料サービスではありません。

この番号におかけいただいた場合は、電話接続前に通話料金の概算をお知らせするメッセージが流れ、電話料金がいくらかかるか事前にお知らせいたします。

IP 電話および PHS からはご利用いただけません。また NTT 以外の電話会社をお使いの場合は、ナビダイヤルをご利用できないことがあります。下記の番号をご利用ください。

⇨ TEL 03-5309-1510

FAX でのお問い合わせ

FAX でのお問い合わせ、修理のご依頼は、本書の「お問い合わせ／修理依頼票」をご利用ください。

⇨ FAX 03-5309-1514

※ FAX でいただいたお問い合わせに関しては、弊社営業時間内に回答いたします。お問い合わせの内容によっては、ご返答に数日かかることがありますので、ご了承ください。

ホームページからの「FAQ ＆お問い合わせ」ご案内

最新版タブレットドライバのダウンロード、よくお問い合わせいただく質問とその回答、電子メールによるお問い合わせなど、次のホームページからご利用いただけます。

⇨ http://tablet.wacom.co.jp/support/

※ 電子メールでいただいたお問い合わせに関しては、弊社営業時間内に回答いたします。お問い合わせの内容によっては、ご返答に数日かかることがありますので、ご了承ください。

ワコムホームページのご案内

ワコムホームページには、製品やキャンペーンなどの情報、ペンタブレットの基本操作など役立つ情報が掲載されています。

⇨ http://tablet.wacom.co.jp/

ワコムクラブおよびワコムストアのご案内

ワコムクラブは、ワコムタブレットユーザ様限定の会員サービスです。会員になると、弊社から最新情報をお届けいたします。また、オンラインショッピングサイト「ワコムストア」でオプション製品、付属品、消耗品、グラフィックソフトなどをご購入いただけます。

ワコムクラブについては、ワコムクラブのホームページをご覧ください。

⇨ http://tablet.wacom.co.jp/wacomclub/

このページを印刷してご利用ください（「お問い合わせ」または「修理依頼」に○をつけてください）。太枠内を記入してください。

お問い合わせ
修理依頼

FAX 送付先 ：03-5309-1514

受付　No.

発信	年　　月　　日

お客様	フリガナ		会社名（学校名）・所属部署	
	氏名			
	使用場所	会社（学校）・自宅	連絡先	会社（学校）・自宅
	住所	〒　※修理のご依頼の場合は、修理完了品の返送先をご記入ください。 E-mail：		
	TEL	（　　）	FAX	（　　）

タブレット	型式		MTE-450	シリアル番号	
	タブレットドライバ		バージョン：		
	購入年月日		年　　月　　日		
使用環境	使用コンピューター		メーカー：	機種名：	
			モデム内蔵 Yes ・No	使用 OS	（バージョン：　）
	使用アプリケーション		（バージョン：　）		
	周辺機器など	種類	メーカー	機種名	接続ポート
		他の USB 機器			
		USB ハブ			
		ディスプレイ			
		ビデオカード			
		その他			
内容	現象発生日		年　　月　　日		
	現象発生頻度		常時・ときどき（システム起動時・使用中・その他：　）		

ここに記入されたお客様の個人情報は、お客様へのサポート、及び修理品の返却のみに利用し、それ以外に利用することはありません。

WACOM INTERNATIONAL OFFICES

Wacom Technology Corporation

1311 S.E. Cardinal Court
Vancouver, WA 98683
U.S.A.
Telephone
General: +1.360.896.9833
Fax: +1.360.896.9724

株式会社ワコム

〒 349-1148
埼玉県北埼玉郡大利根町豊野台 2 丁目 510 番地 1
インターネット：
http://www.tablet.wacom.co.jp

Wacom China Corporation

1108 Block One, Kuntai International Bldg
12 Chao Wai Street, Chao Yang District,
Beijing, China 100020
Telephone
General: +86.10.5879.0880
Fax: +86.10.5879.0102

Wacom Australia Pty. Ltd.

Level 5, 18 Orion Rd,
Lane Cove West NSW 2066, Australia

Telephone
General: +61.2.9422.6700
Fax: +61.2.9420.2272

Wacom Europe GmbH

Europark Fichtenhain A9
47807 Krefeld
Germany
Telephone
General: +49.(0)2151.3614.0
Fax: +49.(0)2151.3614.111

Wacom Co., Ltd.

Asia Pacific Office
Harmony Tower 18F, 1-32-2 Hon Cho,
Nakano-Ku, Tokyo 164-0012
Japan
Telephone
General: +81.3.5309.1513
Fax: +81.3.5309.1514

Wacom Digital Solutions Co., Ltd.

Gangnam Telepia B/D 9th Fl, 662-18
Yeoksam-dong, Gangnam-gu, Seoul, 135-080
Korea
Telephone
General: +82.2.557.3894
Fax: +82.2.557.3895

Wacom Singapore Pte. Ltd. (Singapore)

3 Bishan Place,
CPF Bishan Building #06-08
Singapore 579838
Telephone
General: +65.6258.8640
Fax: +65.6258.8697